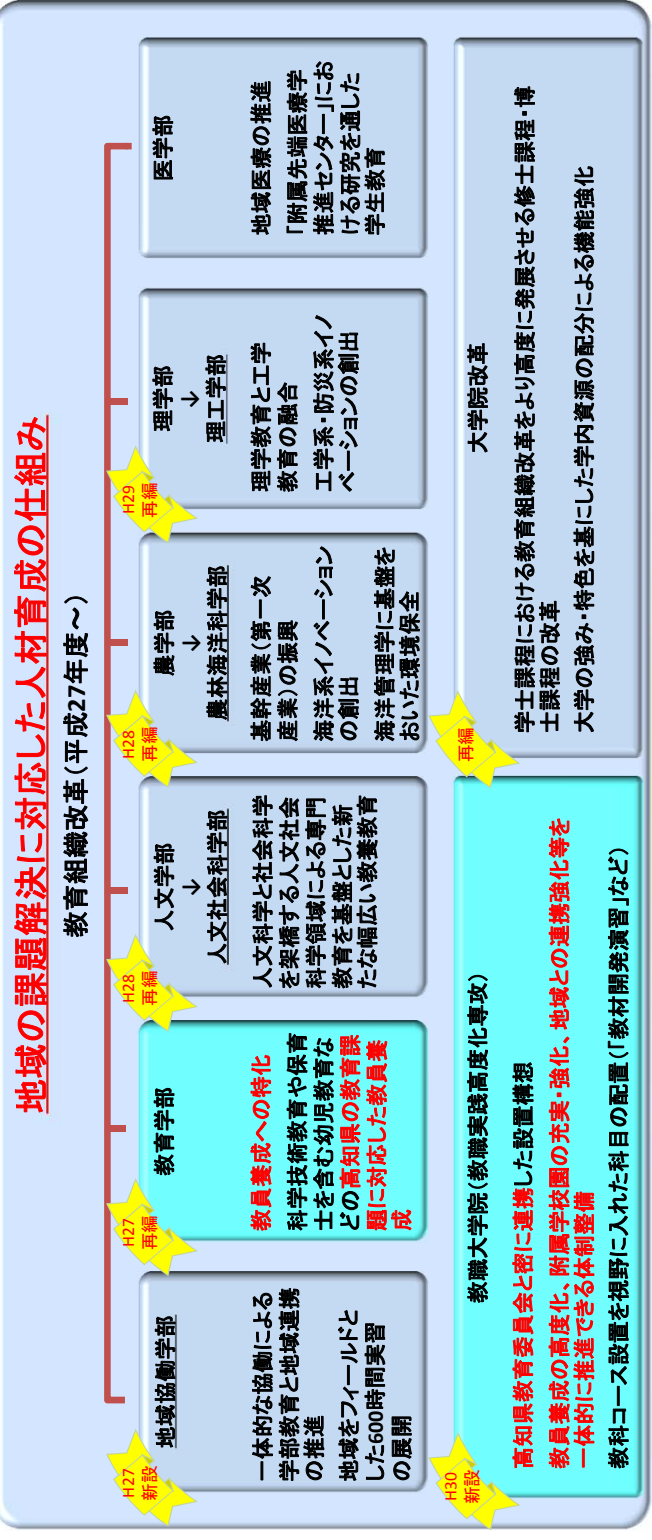


資料4 : 「教育組織改革」と「COC/COC+事業」を通じた地方創生への取組

# 「教育組織改革」と「COC/COC+事業」を通じた地方創生への取組



### 地域ニーズの把握・マッチングの仕組み

- 高知県 高知大学
- 地域産業振興監 地域支探企画員
- 高知県産業振興推進地域本部 7か所に常駐
- 地域コーポネーター(UBC) 高知県産業振興推進地域本部にUBC(特任教員) 4名が常駐

高知大学インサイド・コミュニティーシステム事業(COC事業)

### 地域への人材輩出の仕組み

卒業生の定着

- 地域と“協働する”科目
- 地方創生推進士 認定
- 地域を“体験する”科目
- 地域と“会う”科目
- 地域を“もっと知る”科目
- 地域を“知る”科目

まち・ひと・しごと創生 高知イノベーションシステム(COC+事業)

資料5 : 高知県の教員スタンダード



# 高知県の教員スタンダード

◆「高知県の教員スタンダード」とは、本県の教員が採用後から10年終了までに身に付けるべき到達目標のことで。

◆到達目標の達成段階は、若年前期(採用から2年まで)、若年後期(3年から5年まで)、10年(6年から10年まで)と区分して示しています。

4領域	8能力	番号	到達目標	若年前期	若年後期	10年
1. 学級・HR経営力	集団を高める力	1	児童生徒の実態に応じた、よりよい人間関係づくりや集団づくりを理解することができる。			
		2	児童生徒のよさを認め、児童生徒が安心・安全に過ごせる温かい学級・ホームルームづくりに取り組むことができる。			
		3	児童生徒との関わりの重要性を理解し、積極的にコミュニケーションを図ることができる。			
		4	児童生徒に公平かつ受容的・共感的に関わることができる。			
		5	学校教育目標を理解し、その実現に向けた学級経営案やホームルーム計画を立てることができる。			
		6	不登校やいじめなどの教育課題について理解し、その予防・解決に取り組むことができる。			
	一人一人の能力を高める力	7	自尊感情を育むための手立てについて理解し、児童生徒の自己肯定感を高める取組を行うことができる。			
		8	教職員や家庭・地域と連携しながら、開かれた学級・ホームルーム経営を進めることができる。			
		9	児童生徒一人一人のよさを見取り、学校生活や学習に対する意欲や興味・関心を引き出すことができる。			
		10	個々の生徒指導上の課題について、その予防・解決に向けた適切な指導・支援を行うことができる。			
		11	児童生徒一人一人の心身の特性や状況、生活環境などを多面的に捉え、個に応じた指導・支援を行うことができる。			
		12	児童生徒の自己実現や将来の夢に向けて、個に応じた適切な働きかけを継続的に行うことができる。			
2. 学習指導力	授業実践・改善力	13	年間指導計画に位置付けられている教材の価値を捉え、教材研究を行うことができる。			
		14	学習指導要領と児童生徒の実態を踏まえ、学習指導案を作成することができる。			
		15	発問や板書、机間指導を効果的に用いて、授業のねらいに応じた指導を行うことができる。			
		16	学習指導案や日々の授業計画に基づき、授業を実践することができる。			
		17	学校目標を踏まえ、具体的な教育活動を示した年間指導計画を作成することができる。			
		18	授業の見方・観点について理解し、自他の授業分析から目標の達成に向けた授業を実践することができる。			
	専門性探究力	19	問題解決的な学習の在り方について理解し、自ら学び考える力の育成を目指した授業を実践することができる。			
		20	学習評価の在り方を理解し、評価規準を用いて児童生徒の学習状況を把握することができる。			
		21	P D C A サイクルを生かした学習指導について理解し、指導方法の工夫・改善を行うことができる。			
		22	専門書等で知識を得たり、県内外の研修等に参加したりすることで、専門的知識・技能を習得することができる。			
3. チームマネジメント力	協働性・同僚性の構築力	23	今日的な教育の動向を把握し、求められる専門性を追求することができる。			
		24	教科における自校の教育課題を分析・考察し、学力の定着・向上に取り組むことができる。			
		25	自ら学び考える力の育成を目指し、指導方法や指導技術を高めることができる。			
		26	確かな学力の向上を目指し、児童生徒の実態に応じた創意工夫した教材を開発することができる。			
		27	地域の行事等に参加するなど、地域との連携を図ることができる。			
		28	同僚の授業を参観し、そこから見える成果や課題を適切に評価し、自己の学びにつなげることができる。			
	組織貢献力	29	同僚と協働することの意義を理解し、問題解決に向けてチームで対応することができる。			
		30	保護者や地域等との連携の必要性を理解し、円滑かつ迅速に対応することができる。			
		31	学年・学校内での共通認識のもと、外部の専門機関等と連携を図ることができる。			
		32	同僚の教育実践における課題について、学び合う意識をもって助言することができる。			
4. セルフマネジメント力	自己管理能力	33	組織の一員として自己の役割を自覚し、全体最適の視点から学校運営に貢献することができる。			
		34	同僚の特性や強みを見取り、それらを生かしたよりよい組織づくりに貢献することができる。			
		35	現状にとどまることなく、よりよい組織の構築に向け、リーダーシップを発揮することができる。			
		36	学校を取り巻く状況を把握・分析し、学校組織の課題を発見することができる。			
		37	自校の課題に対して、職員会議等において建設的に意見を述べるることができる。			
		38	うまくいかないことがあっても、あきらめず前向きに対応し続けることができる。			
	自己変革力	39	自己のストレス解消法を見つけ、明日への活力につなげることができる。			
		40	健康的な生活習慣を維持し、自己の健康管理を行うことができる。			
		41	教育公務員として服務規律を遵守し、規範意識をもって職務に専念することができる。			
		42	言葉遣いやマナーなどの社会人としての常識を身に付けた対応ができる。			
		43	仕事とプライベートの区別をつけることができる。			
		44	スケジュール管理に努め、時間や提出期限等を守ることができる。			
		45	悩みや困ったことが生じた場合等には、管理職や同僚に相談することができる。			
		46	教員としての役割を理解し、教育的視点に立った公正な判断をすることができる。			
		47	管理職や同僚等の助言を謙虚に受け止め、自分を振り返り自己の成長につなげることができる。			
		48	チャレンジ精神や向上心を持ち、常に新たなことに取り組むなど自己研鑽に努めることができる。			
		49	人権尊重の精神を理解し、多様な価値観を尊重しながら自らの人権意識を高めることができる。			
		50	社会情勢等を冷静に分析し、先見性をもって社会の変化に柔軟に対応することができる。			

資料6 : 教職大学院の概要



# 高知大学教職大学院(教職実践高度化専攻)概要

## 教職大学院設置の背景

大学と教員委員会の連携を通じた教員養成の高度化

### 教職大学院

現職教員の再教育の場としての役割に重点を置きつつ、学部新卒学生についても実践力を身につける場

- #### 高知県の主な教育課題
- 学校の組織力の向上
  - 学力向上(理数教育、小学校英語)
  - 生徒指導上の諸課題の解決、道徳教育の充実
  - 障害の状況に応じた適切な指導・支援の充実

## 高知県教育委員会からの要望

- ① 学校運営をマネジメントし、実践できるスクールリーダー、特に、学校経営計画の策定とそれに基く学校経営の推進などについて先導的役割を果たす
- ② 学級経営や生徒指導に関する理論と実践力を身に付け、組織的な取組をリードする
- ③ 理数分野を中心として、新しい学習指導要領を踏まえた授業改善を組織的にリードする
- ④ 教科化される道徳教育について、その教育内容と手法に習熟し、優れた実践を広める
- ⑤ 特別支援教育について専門的知識・指導力を有するとともに、学校における支援体制づくりを牽引する

## 高度専門職業人としての教員養成

## 高知大学教職大学院のコース・定員・教育課程

### ● 学校運営コース

学校全体としての組織的な取組をリードすることができる高度な実践的指導力を育成し、学校の教育活動を効果的にマネジメントして実践できる力量を備えた中核的中教員を養成する。

#### 専門科目(例)

- ・学校管理職の役割と実践
- ・学校に求められるリスクマネジメント
- ・高知県の地域教育リソース開発
- ・学校組織開発演習

### ● 教育実践コース

全ての子どもたちに質の高い学びを保証することができる高度な実践的指導力を育成し、学級経営や学習指導に関する高い専門性と実践力を備えた中核教員を養成する。

#### 専門科目(例)

- ・学級経営の開発的実践
- ・理科学習指導法の理論と実践
- ・授業方法演習(数学、英語等)
- ・授業デザイン

### ● 特別支援教育コース

個別の障害像に即した実態把握に基づき個別の指導計画を立案し、それを実践したのちに、適切な教育評価により個別事例の臨床像に対する指導の効果を検証する能力を有する中核教員を養成する。

#### 専門科目(例)

- ・特別支援教育の理論と推進・連携体制の構築
- ・限高性学習症指導の理論と実践
- ・特別支援教育演習

## 理論と実践の融合を図る教育課程

実習科目(附属学校園、在籍校等での実習)

総合実践力科目(実習の省察と総括)

特別支援教育コース

教育実践コース

専門科目

専門科目

専門科目

共通科目(研究者教員と実務家教員のTT)

- 例
- ・高知県の学校教育をめぐる現代的課題
- ・道徳教育の理論と実践

個別の指導計画

学校経営計画

教員スタンダード

高知県の教育課題

入学定員	現職派遣		学部卒生	合計(定員)
	小・中・高	10名程度		
学校運営コース			5名程度	15名
教育実践コース				
特別支援教育コース				

## 必要単位数

共通科目	コース別専門科目	総合実践力科目	実習科目	合計
20 単位	8 単位	8 単位	10 単位	46 単位

資料7 : 高知県公立学校教職員等研修体系



	<b>若年教員育成プログラム</b> 授業や学級経営、児童生徒理解などの実践的指導力とマネジメント力の向上のために、臨時的任用教員から採用4年目までを対象に集中的に実施	<b>主任・ミドルリーダー育成プログラム</b> 企画立案力や課題解決力など、チームでマネジメントできる力の向上のために、主任・ミドルリーダーを対象に実施	<b>管理職等育成プログラム</b> 総合調整力や課題解決力、改革推進力、人材育成力などのマネジメント力の向上のために、指導教諭、主幹教諭から校長・園長までを対象に、体系的・継続的なプログラムを実施
<b>ライフステージに応じた教職員等の資質・能力</b>	<b>実践的指導力</b> 各教科等の専門的・内容を自らが常に向上させる力 授業づくりの基礎・基本 校内の若年教員への指導ができる力 / 地域の教科リーダーになることができる力 子どもとの信頼関係づくり・コミュニケーション力・集団指導力 個々の子どもの障害や特性を理解する力 子どもの実態を把握し特性に応じた指導を実践できる力 / 組織的な対応や取組につなげる力 学級・HR経営力 学年経営に参画できる力 / 学年経営力	<b>マネジメント力</b> セルフ・マネジメント力(自己管理能力、自己変革力) チーム・マネジメント力(協働性・同僚性の構築力、組織貢献力) 戦略マネジメント力(企画立案力、課題解決力) ネットワーク・マネジメント力(総合調整力、改革推進力)	教育課程の編成や特色ある教育内容の構築などカリキュラムマネジメント力 自校の教育課題を解決するための校内研修を推進する力 不測の事態等に迅速かつ的確に対処するリスクマネジメント力
<b>教職等経験に応じた研修</b>	<b>教職員等</b> 臨時任用 教員研修 I・II 初任者研修 2年経験者研修 3年経験者研修 4年経験者研修 10年経験者研修 養護教諭研修(新規採用、2年経験者、10年経験者) 栄養教諭研修(新規採用、2年経験者、10年経験者) 実習助手研修(新規採用、新任用講師・主任) 寄宿舎指導員研修(基礎ステージ、ミドルステージ、トップステージ) 事務職員研修(小中)(基礎、充実、発展、指導、新任用事務長) 事務職員研修(県立)(新規採用、主事、主幹、主任、新任用事務長)	<b>管理職研修</b> 指導教諭研修(新任用、任用2年次) 主幹教諭研修(新任用、任用2年次) 教頭研修ステージ I～III 新任用副校長研修 新任用校長研修 経営力育成セレクト研修	基礎研修 I期 II期 III期 10年経験者 ミドル研修 1年次 2年次 ミドルリーダーフォローアップ研修 基本コース 発展コース 管理職研修 主任保育士・教頭等ステージ I～III 所長・園長ステージ I～III
<b>専門研修</b>	職務研修 教科等研修 幼保研修 人権教育研修 心の教育研修 特別支援教育研修 健康・保健、安全教育研修 校種間連携研修		
<b>長期派遣</b>	教育センター等研究生、留学生派遣研修 長期国内派遣研修(公立学校教員大学院派遣、教職員等中央派遣研修、県外人事交流、産業教育内地留学等) その他の派遣研修(四国地区社会教育主事講習等)		
<b>事業支援</b>	教科研究支援事業 自主研修支援事業		

資料8 : 各コース・キャリア別の育成する力の概念

## 各コース・キャリア別の育成する力の概念

	学校運営コース(現職教員 院生)	教育実践コース(学部卒院 生)	教育実践コース(現職教員 院生)	特別支援教育コース(学部 卒院生)	特別支援教育コース(現職 教員院生)
学級・HR経営力		児童生徒一人一人の特性を把握し、よりよい人間関係を築いて学級を運営していくことができる	児童生徒一人一人の特性に応じて能力を高め、自己実現に向かって成長していくことができる	児童生徒一人一人の特性や障害の状況を把握し、よりよい人間関係を築いて学級を運営していくことができる	児童生徒一人一人の特性や障害の状況に応じて能力を高め、自己実現に向かって成長していくことができる
学習指導力		教育方法に関する専門性を養い、指導方法を工夫しつつ学習目標の達成に向けた授業実践を行うことができる	教育方法に関する専門性を高め、指導方法を工夫・開発しつつ学習目標の達成に向けた授業改善を続けていくことができる	特別支援教育に関する専門性を養い、指導方法を工夫しつつ学習目標の達成に向けた授業実践を行うことができる	特別支援教育に関する専門性を高め、指導方法を工夫・開発しつつ学習目標の達成に向けた授業改善を続けていくことができる
チームマネジメント力		学校組織の一員として、自己の役割を果たし、互いに学び合っていくことができる	学校組織の一員として、自己の役割を果たし、互いに学び合い、教育実践力の向上につなげていくことができる	学校組織の一員として、自己の役割を果たし、互いに学び合っていくことができる	学校組織の一員として、自己の役割を果たし、互いに学び合い、特別支援教育に関する実践力の向上につなげていくことができる
セルフマネジメント力	教員としての自覚を持ち、社会の変化に対応しながら自己研鑽と自己変革に努め、学び続けていくことができる	教員を志す者としての自覚を持ち、学び続けていくことができる	教員としての自覚を持ち、社会の変化に対応しながら自己研鑽と自己変革に努め、学び続けていくことができる	教員を志す者としての自覚を持ち、学び続けていくことができる	教員としての自覚を持ち、社会の変化に対応しながら自己研鑽と自己変革に努め、学び続けていくことができる
リスクマネジメント力	児童生徒の生命や心身等に危害をもたらす危険やいじめなどを防止したり、それらに適切かつ迅速に対処したりすることができる	児童生徒の生命や心身等に危害をもたらす危険やいじめなどを防止したり、それらに対処したりすることができる	児童生徒の生命や心身等に危害をもたらす危険やいじめなどを防止したり、それらに適切かつ迅速に対処したりすることができる	児童生徒の生命や心身等に危害をもたらす危険やいじめなどを防止したり、それらに対処したりすることができる	児童生徒の生命や心身等に危害をもたらす危険やいじめなどを防止したり、それらに適切かつ迅速に対処したりすることができる
校内研修推進力	組織的・計画的に学校運営に関する研修を行う、研修内容の充実・改善を図り、学校の教育力を向上させることができる		組織的・計画的に学級経営や学習指導に関する研修を行う、研修の充実・改善を図り、教育実践力を向上させることができる		組織的・計画的に特別支援教育に関する研修を行う、研修の充実・改善を図り、教育実践力を向上させることができる
戦略マネジメント力	学校の教育課題を解決するため、学校運営に関する方策を企画立案し、実行に移していくことができる		学校の教育課題を解決するため、学級経営や学習指導に関する方策を企画立案し、実行に移していくことができる		学校の教育課題を解決するため、特別支援教育に関する方策を企画立案し、実行に移していくことができる
カリキュラムマネジメント力	学校の教育目標の実現に向けて、子どもや地域の実態を踏まえ、教育課程を編制し、これをPDCAサイクルで計画的・組織的に実施していくことができる				
ネットワークマネジメント力	学校内外の教育資源を統合・調整し、学校組織が効率的・効果的に動くよう、組織改革を推進していくことができる				

※ 「教育実践コース」の専門科目で「理科分野」を中心に履修する者は、「学習指導力」、「校内研修推進力」、「戦略マネジメント力」等について、理科分野の教育実践に関する能力の高度化を図る。

資料9 : カリキュラムと育成する力

# 学校運営コースのカリキュラムと育成する力

修了時の力	学校の教育目標の実現に向けて、子どもや地域の実態を踏まえ、教育課程を編制し、これをPDCAサイクルで計画的・組織的に実施していくことができる。	学校内外の教育資源を統合・調整し、学校組織が効率的・効果的に動くよう、組織改革を推進していくことができる。	教員としての自覚を持ち、社会の変化に対応しながら自己研鑽と自己変革に努め、学び続けていくことができる。	児童生徒の生命や心身等に危害をもたらす危険やいじめなどを防止したり、それらに適切かつ迅速に対処したりすることができる。	学校の教育課題を解決するため、学校運営に関する方策を企画立案し、実行に移していくことができる。	組織的・計画的に学校運営に関する研修を行って、研修内容の充実・改善を図り、学校の教育力を向上させることができる。
	カリキュラムマネジメント力	ネットワークマネジメント力	セルフマネジメント力	リスクマネジメント力	戦略マネジメント力	校内研修推進力
2年	総合実践研究（学校運営）					
	学校運営リーダー実習Ⅲ					
	教育実践研究Ⅲ（学校運営）					
	学校組織開発演習			学校組織開発演習		
	学校運営リーダー実習Ⅱ					
	教育実践研究Ⅱ（学校運営）					
	学校運営リーダー実習Ⅰ					
	教育実践研究Ⅰ（学校運営）					
	学校組織開発のための学校評価		学校組織開発のための学校評価		学校組織開発のための学校評価	
	高知県の地域教育リソース開発		高知県の地域教育リソース開発		高知県の地域教育リソース開発	
組織的な授業開発		組織的な授業開発		組織的な授業開発		
開かれた教育課程の開発と実践		開かれた教育課程の開発と実践		開かれた教育課程の開発と実践		
教育相談の理論と実践		教育相談の理論と実践		教育相談の理論と実践		
学級経営の理論と実践		学級経営の理論と実践		学級経営の理論と実践		
学校組織開発の理論と実践		学校組織開発の理論と実践		学校組織開発の理論と実践		
学校組織開発の理論と実践		学校組織開発の理論と実践		学校組織開発の理論と実践		
不登校・いじめの組織的予防と解決		不登校・いじめの組織的予防と解決		不登校・いじめの組織的予防と解決		
変動する社会と生徒指導の理論と実践		変動する社会と生徒指導の理論と実践		変動する社会と生徒指導の理論と実践		
道徳教育の理論と実践		道徳教育の理論と実践		道徳教育の理論と実践		
高知県の学校教育をめぐる現代的課題		高知県の学校教育をめぐる現代的課題		高知県の学校教育をめぐる現代的課題		
高知県における教員の実践的力養成		高知県における教員の実践的力養成		高知県における教員の実践的力養成		
学校組織マネジメントの理論と実践		学校組織マネジメントの理論と実践		学校組織マネジメントの理論と実践		
ユニバーサルデザインに基づく特別の教育課程の開発と実践		ユニバーサルデザインに基づく特別の教育課程の開発と実践		ユニバーサルデザインに基づく特別の教育課程の開発と実践		
アクティブラーニングの理論と実践		アクティブラーニングの理論と実践		アクティブラーニングの理論と実践		
1年	学校組織開発の理論と実践		学校組織開発の理論と実践		学校組織開発の理論と実践	
	学校管理職の役割と実践		学校管理職の役割と実践		学校管理職の役割と実践	
入学時の力	カリキュラムマネジメント力	ネットワークマネジメント力	セルフマネジメント力	リスクマネジメント力	戦略マネジメント力	校内研修推進力
	教育課程について理解し、これをPDCAサイクルで実施していくことができる。	学校内外の教育資源を教育実践に活用していくことができる。	教員としての自覚を持ち、学び続けていくことができる。	児童生徒の生命や心身等に危害をもたらす危険やいじめなどを防止したり、それらに対処したりすることができる。	学校の教育課題を解決するための企画を立てることができる。	研修の充実を図ることができる。

専門科目	学校運営コース(選択) 4科目以上	総合実践力科目	必修
共通科目	必修	実習科目	必修

教育実践コース【学部卒院生】のカリキュラムと育成する力

修了時の力	児童生徒一人一人の特性を把握し、よりよい人間関係を築いて学級を運営していくことができる。	教育方法に関する専門性を養い、指導方法を工夫しつつ学習目標の達成に向けた授業実践を行うことができる。	学校組織の一員として、自己の役割を果たし、互いに学び合っていくことができる。	教員を志す者としての自覚を持ち、学び続けていくことができる。	児童生徒の生命や心身等に危害をもたらす危険やいじめなどを防止したり、それらに対処したりすることができる。	
	学級・HR経営力	学習指導力	チームマネジメント力	セルフマネジメント力	リスクマネジメント力	
2年	第2学期	総合実践研究（教育実践）				
		教育実践高度化実習Ⅲ（学部卒用）				
		教育実践研究Ⅲ（教育実践）				
	第1学期	授業デザイン				
		教育実践高度化実習Ⅱ（学部卒用）				
		教育実践研究Ⅱ（教育実践）				
		理科教育マネジメントの理論と実践				
		教材開発演習				
		授業方法演習				
1年	第2学期	教育実践高度化実習Ⅰ（学部卒用）				
		教育実践研究Ⅰ（教育実践）				
		理科教材研究・開発の理論と実践				理科教材研究・開発の理論と実践
	授業研究開発と教育評価					
	教育方法と授業研究の理論と実践					
	児童生徒理解と人権教育				児童生徒理解と人権教育	
	教育相談の理論と実践				教育相談の理論と実践	
	開かれた教育課程の開発と実践					
	学級経営の理論と実践			学級経営の理論と実践		
	第1学期	理科学習指導法の理論と実践				
ICT活用における授業設計						
学級経営の開発的実践				学級経営の開発的実践		
小学校外国語活動と英語教育						
不登校・いじめの組織的予防と解決					不登校・いじめの組織的予防と解決	
変動する社会と生徒指導の理論と実践					変動する社会と生徒指導の理論と実践	
アクティブラーニングの理論と実践						
道徳教育の理論と実践						
高知県の学校教育をめぐる現代的課題						
			高知県における教員の実践的力養成			
ユニバーサルデザインに基づく特別の教育課程の開発と実践			学校組織マネジメントの理論と実践			
入学時の力	学級・HR経営力	学習指導力	チームマネジメント力	セルフマネジメント力	リスクマネジメント力	
	児童生徒理解に努め、高まり合う学級集団を築いていこうとする意欲を持っている。	基本的な学習指導方法を理解し、授業実践への意欲を持っている。	学校組織の一員として、自己の役割を果たそうとする意欲を持っている。	教員を志す者としての自覚を持っている。	児童生徒の生命や心身等に危害をもたらす危険やいじめなどを防止しようとする意欲を持っている。	

専門科目	教育実践コース(選択) 4科目以上	総合実践力科目	必修
共通科目	必修	選択 1科目以上	実習科目
			必修

教育実践コース【現職教員院生】のカリキュラムと育成する力

修了時の力	児童生徒一人一人の特性に応じて能力を高め、自己実現に向かって成長していくことができるよう学級を運営していくことができる。	教育方法に関する専門性を高め、指導方法を工夫・開発しつつ学習目標の達成に向けた授業改善を続けていくことができる。	学校組織の一員として、自己の役割を果たし、互いに学び合ひ、教育実践力の向上につなげていくことができる。	教員としての自覚を持ち、社会の変化に対応しながら自己研鑽と自己変革に努め、学び続けていくことができる。	児童生徒の生命や心身等に危害をもたらす危険やいじめなどを防止したり、それらに対処したりすることができる。	学校の教育課題を解決するため、学級経営や学習指導に関する方策を企画立案し、実行に移していくことができる。	組織的・計画的に学級経営や学習指導に関する研修を行って、研修の充実・改善を図り、教育実践力を向上させることができる。
	学級・HR経営力	学習指導力	チームマネジメント力	セルフマネジメント力	リスクマネジメント力	戦略マネジメント力	校内研修推進力
2年	総合実践研究（教育実践）						
	教育実践高度化実習Ⅲ（現職教員用）						
第2学期	教育実践研究Ⅲ（教育実践）						
	授業デザイン						授業デザイン
第1学期	教育実践高度化実習Ⅱ（現職教員用）						
	教育実践研究Ⅱ（教育実践）						
	理科教育マネジメントの理論と実践						理科教育マネジメントの理論と実践
	教材開発演習						教材開発演習
	授業方法演習						授業方法演習
第2学期	教育実践高度化実習Ⅰ（現職教員用）						
	教育実践研究Ⅰ（教育実践）						
	理科教材研究・開発の理論と実践				理科教材研究・開発の理論と実践		理科教材研究・開発の理論と実践
	授業研究開発と教育評価					授業研究開発と教育評価	
	教育方法と授業研究の理論と実践						教育方法と授業研究の理論と実践
	児童生徒理解と人権教育				児童生徒理解と人権教育		
	教育相談の理論と実践				教育相談の理論と実践		
	開かれた教育課程の開発と実践						
	学級経営の理論と実践			学級経営の理論と実践		学級経営の理論と実践	
1年	理科学習指導法の理論と実践						理科学習指導法の理論と実践
	ICT活用における授業設計						ICT活用における授業設計
	学級経営の開発的実践			学級経営の開発的実践		学級経営の開発的実践	
	小学校外国語活動と英語教育						
	不登校・いじめの組織的予防と解決				不登校・いじめの組織的予防と解決		
	変動する社会と生徒指導の理論と実践				変動する社会と生徒指導の理論と実践		
第1学期	アクティブラーニングの理論と実践						アクティブラーニングの理論と実践
	道徳教育の理論と実践						
	高知県の学校教育をめぐる現代的課題						高知県の学校教育をめぐる現代的課題
			高知県における教員の実践的力養成				高知県における教員の実践的力養成
			学校組織マネジメントの理論と実践				学校組織マネジメントの理論と実践
	ユニバーサルデザインに基づく特別の教育課程の開発と実践						
入学時の力	学級・HR経営力	学習指導力	チームマネジメント力	セルフマネジメント力	リスクマネジメント力	戦略マネジメント力	校内研修推進力
	児童生徒一人一人の特性を把握し、よりよい人間関係を築いて学級を運営していくことができる。	学習指導方法を工夫し、学習目標の達成に向けた授業実践を行うことができる。	学校組織の一員として、自己の役割を果たし、互いに学び合っていくことができる。	教員としての自覚を持ち、学び続けていくことができる。	児童生徒の生命や心身等に危害をもたらす危険やいじめなどを防止したり、それらに対処したりすることができる。	学校の教育課題を解決するための企画を立てることができる。	研修の充実を図ることができる。

専門科目	教育実践コース(選択) 4科目以上	総合実践力科目	必修
共通科目	必修	選択 1科目以上	必修
		実習科目	必修



特別支援教育コース【学部卒院生】のカリキュラムと育成する力

修了時の力	児童生徒一人一人の特性や障害の状況を把握し、よりよい人間関係を築いて学級を運営していくことができる。	特別支援教育に関する専門性を養い、指導方法を工夫しつつ学習目標の達成に向けた授業実践を行うことができる。	学校組織の一員として、自己の役割を果たし、互いに学び合っていくことができる。	教員を志す者としての自覚を持ち、学び続けていくことができる。	児童生徒の生命や心身等に危害をもたらす危険やいじめなどを防止したり、それらに対処したりすることができる。
	学級・HR経営力	学習指導力	チームマネジメント力	セルフマネジメント力	リスクマネジメント力
2年	総合実践研究（特別支援教育）				
	特別支援教育実習Ⅲ（学部卒用）				
	教育実践研究Ⅲ（特別支援教育）				
	特別支援教育実習Ⅱ（学部卒用）				
1年	特別支援教育実習Ⅰ（学部卒用）				
	教育実践研究Ⅰ（特別支援教育）				
2年	病弱指導の理論と実践				
	特別支援教育ライフスキル指導の理論と実践				
	肢体不自由指導の理論と実践				
	自閉スペクトラム症指導の理論と実践				
	知的障害指導の理論と実践				
	注意欠如多動症指導の理論と実践				
	限局性学習症指導の理論と実践				
	特別支援教育の理論と推進・連携体制の構築	特別支援教育の理論と推進・連携体制の構築			自閉スペクトラム症指導の理論と実践
	教育方法と授業研究の理論と実践				
	教育相談の理論と実践				教育相談の理論と実践
開かれた教育課程の開発と実践					
学級経営の理論と実践				学級経営の理論と実践	
1年	病弱評価の基礎と実際				
	特別支援教育ライフスキル評価の基礎と実際				
	肢体不自由評価の基礎と実際				
	自閉スペクトラム症評価の基礎と実際				
	注意欠如多動症評価の基礎と実際				
	特別支援教育発達評価の基礎と実際				
	特別支援教育認知能力評価の基礎と実際				
	不登校・いじめの組織的予防と解決				不登校・いじめの組織的予防と解決
	変動する社会と生徒指導の理論と実践				変動する社会と生徒指導の理論と実践
		アクティブラーニングの理論と実践			
	道徳教育の理論と実践				
	高知県の学校教育をめぐる現代的課題				
		高知県における教員の実践的力養成			
		学校組織マネジメントの理論と実践			
	ユニバーサルデザインに基づく特別の教育課程の開発と実践				
入学時の力	学級・HR経営力	学習指導力	チームマネジメント力	セルフマネジメント力	リスクマネジメント力
	児童生徒理解に努め、高まり合う学級集団を築いていこうとする意欲を持っている。	基本的な学習指導方法を理解し、授業実践への意欲を持っている。	学校組織の一員として、自己の役割を果たそうとする意欲を持っている。	教員を志す者としての自覚を持っている。	児童生徒の生命や心身等に危害をもたらす危険やいじめなどを防止しようとする意欲を持っている。

専門科目	特別支援教育コース(選択) 4科目以上	総合実践力科目	必修
共通科目	必修	選択 1科目以上	実習科目
			必修

## 特別支援教育コース【現職教員院生】のカリキュラムと育成する力

修了時の力	児童生徒一人一人の特性や障害の状況に応じて能力を高め、自己実現に向かって成長していくことができるよう学級を運営していくことができる。	特別支援教育に関する専門性を高め、指導方法を工夫・開発しつつ学習目標の達成に向けた授業改善を続けていくことができる。	学校組織の一員として、自己の役割を果たし、互いに学び合い、特別支援教育に関する実践力の向上につなげていくことができる。	教員としての自覚を持ち、社会の変化に対応しながら自己研鑽と自己変革に努め、学び続けていくことができる。	児童生徒の生命や心身に危害をもたらす危険やいじめなどを防止したり、それらに適切かつ迅速に対処したりすることができる。	学校の教育課題を解決するため、特別支援教育に関する方策を企画立案し、実行に移していくことができる。	組織的・計画的に特別支援教育に関する研修を行って、研修の充実・改善を図り、教育実践力を向上させることができる。			
	学級・HR経営力	学習指導力	チームマネジメント力	セルフマネジメント力	リスクマネジメント力	戦略マネジメント力	校内研修推進力			
2年	総合実践研究（特別支援教育） 特別支援教育実習Ⅲ（現職教員用） 教育実践研究Ⅲ（特別支援教育）									
	特別支援教育実習Ⅱ（現職教員用） 教育実践研究Ⅱ（特別支援教育）									
第1学期	特別支援教育実習Ⅰ（現職教員用） 教育実践研究Ⅰ（特別支援教育）									
	特別支援教育演習			特別支援教育演習						
第2学期	特別支援教育実習Ⅰ（現職教員用） 教育実践研究Ⅰ（特別支援教育）									
	病弱指導の理論と実践									
	特別支援教育ライフスキル指導の理論と実践									
	肢体不自由指導の理論と実践									
	自閉スペクトラム症指導の理論と実践				自閉スペクトラム症指導の理論と実践					
	知的障害指導の理論と実践									
	注意欠如多動症指導の理論と実践									
	限局性学習症指導の理論と実践									
	特別支援教育の理論と推進・連携体制の構築		特別支援教育の理論と推進・連携体制の構築				特別支援教育の理論と推進・連携体制の構築			
	教育方法と授業研究の理論と実践								教育方法と授業研究の理論と実践	
教育相談の理論と実践						教育相談の理論と実践				
開かれた教育課程の開発と実践										
学級経営の理論と実践				学級経営の理論と実践		学級経営の理論と実践				
1年	病弱評価の基礎と実際									
	特別支援教育ライフスキル評価の基礎と実際									
	肢体不自由評価の基礎と実際									
	自閉スペクトラム症評価の基礎と実際									
	注意欠如多動症評価の基礎と実際									
	特別支援教育発達評価の基礎と実際									
	特別支援教育認知能力評価の基礎と実際									
	不登校・いじめの組織的予防と解決						不登校・いじめの組織的予防と解決			
	変動する社会と生徒指導の理論と実践						変動する社会と生徒指導の理論と実践			
	アクティブラーニングの理論と実践								アクティブラーニングの理論と実践	
道徳教育の理論と実践										
高知県の学校教育をめぐる現代的課題						高知県の学校教育をめぐる現代的課題				
				高知県における教員の実践的力量形成				高知県における教員の実践的力量形成		
		学校組織マネジメントの理論と実践				学校組織マネジメントの理論と実践				
ユニバーサルデザインに基づく特別の教育課程の開発と実践										
入学時の力	学級・HR経営力	学習指導力	チームマネジメント力	セルフマネジメント力	リスクマネジメント力	戦略マネジメント力	校内研修推進力			
	児童生徒一人一人の特性や障害の状況を把握し、よりよい人間関係を築いて学級を運営していくことができる。	教科や特別支援教育等に関する指導方法を工夫し、学習目標の達成に向けた授業実践を行うことができる。	学校組織の一員として、自己の役割を果たし、互いに学び合っていくことができる。	教員としての自覚を持ち、学び続けていくことができる。	児童生徒の生命や心身に危害をもたらす危険やいじめなどを防止したり、それらに対処したりすることができる。	学校の教育課題を解決するための企画を立てることができる。	研修の充実を図ることができる。			

専門科目	特別支援教育コース(選択) 4科目以上	総合実践力科目	必修
共通科目	必修	選択 1科目以上	実習科目
			必修

資料 10 : 授業時間割

## 時間割【1年次配当】

実習科目	共通科目	総合実践力科目	専門科目		
			学校運営コース	教育実践コース	特別支援教育コース

専門科目は、該当コースの科目を4科目以上履修。

1学期	月	火	水	木	金	
1	ユニバーサルデザインに基づく特別の教育課程の開発と実践	(学校運営リーダー・教育実践高度化・特別支援教育) 実習Ⅰ	(学校運営・教育実践・特別支援教育) 教育実践研究Ⅰ	高知県における教員の実践的力量的形成(※1)	アクティブラーニングの理論と実践	
2	学校組織マネジメントの理論と実践			高知県の学校教育をめぐる現代的課題(※2)	学級経営の開発的実践	特別支援教育発達評価の基礎と実際
3	学校管理職の役割と実践 特別支援教育認知能力評価の基礎と実際			不登校・いじめの組織的予防と解決		
4	道徳教育の理論と実践			小学校外国語活動と英語教育	自閉スペクトラム症評価の基礎と実際	
5	理科学習指導法の理論と実践 注意欠如多動症評価の基礎と実際			変動する社会と生徒指導の理論と実践		
集中	学校組織開発の理論と実際			肢体不自由評価の基礎と実際		
	ICT活用における授業設計			特別支援教育ライフスキル評価の基礎と実際		
				病弱評価の基礎と実際		

※1・2は、1年次に必修。

金曜日は、実習、教育実践研究にあてる場合がある。

2学期	月	火	水	木	金	
1	特別支援教育の理論と推進・連携体制の構築	(学校運営リーダー・教育実践高度化・特別支援教育) 実習Ⅰ	(学校運営・教育実践・特別支援教育) 教育実践研究Ⅰ	開かれた教育課程の開発と実践		
2	理科教材研究・開発の理論と実践 限局性学習症指導の理論と実践			学級経営の理論と実践		
3	教育方法と授業研究の理論と実践			組織的な授業開発	知的障害指導の理論と実践	
4	学校に求められるリスクマネジメント			高知県の地域教育リソース開発	授業研究開発と教育評価	自閉スペクトラム症指導の理論と実践
5	注意欠如多動症指導の理論と実践			教育相談の理論と実践		
集中	学校組織開発のための学校評価			肢体不自由指導の理論と実践		
	児童生徒理解と人権教育			特別支援教育ライフスキル指導の理論と実践		
				病弱指導の理論と実践		

## 時間割【2年次配当】

実習科目	共通科目	総合実践力科目	専門科目		
			学校運営コース	教育実践コース	特別支援教育コース

専門科目は、該当コースの科目を4科目以上履修。

1学期	月	火	水	木	金
1		(学校運営リーダー・教育実践高度化・特別支援教育) <b>実習Ⅱ</b>	(学校運営・教育実践・特別支援教育) <b>教育実践研究Ⅱ</b>	(学校運営・教育実践・特別支援教育) <b>教育実践研究Ⅱ</b>	教材開発演習
2	特別支援教育演習				
3					
4					
5	授業方法演習				
集中					

金曜日は、実習、教育実践研究にあてる場合がある。

2学期	月	火	水	木	金
1		(学校運営リーダー・教育実践高度化・特別支援教育) <b>実習Ⅲ</b>	(学校運営・教育実践・特別支援教育) <b>教育実践研究Ⅲ</b>		
2					
3					
4					
5	授業デザイン				
集中	学校組織開発演習				
	総合実践研究(学校運営・教育実践・特別支援教育)				

## コース別時間割【学校運営コース 1年】

実習科目	共通科目	総合実践力科目	専門科目		
			学校運営コース	教育実践コース	特別支援教育コース

専門科目は、該当コースの科目を4科目以上履修。

1学期	月	火	水	木	金
1	ユニバーサルデザインに基づく特別の教育課程の開発と実践	学校運営リーダー実習Ⅰ	教育実践研究Ⅰ（学校運営）	高知県における教員の実践的力形成（※1）	アクティブラーニングの理論と実践
2	学校組織マネジメントの理論と実践			高知県の学校教育をめぐる現代的課題（※2）	
3	学校管理職の役割と実践			不登校・いじめの組織的予防と解決	
4	道徳教育の理論と実践				
5				変動する社会と生徒指導の理論と実践	
集中	学校組織開発の理論と実践				

※1・2は、1年次に必修。

金曜日は、実習、教育実践研究にあてる場合がある。

2学期	月	火	水	木	金
1		学校運営リーダー実習Ⅰ	教育実践研究Ⅰ（学校運営）	開かれた教育課程の開発と実践	
2				学級経営の理論と実践	
3	教育方法と授業研究の理論と実践			組織的な授業開発	
4	学校に求められるリスクマネジメント			高知県の地域教育リソース開発	
5				教育相談の理論と実践	
集中	学校組織開発のための学校評価				

## コース別時間割【学校運営コース 2年】

実習科目	共通科目	総合実践力科目	専門科目		
			学校運営コース	教育実践コース	特別支援教育コース

専門科目は、該当コースの科目を4科目以上履修。

1学期	月	火	水	木	金
1		学校運営リーダー実習Ⅱ	教育実践研究Ⅱ (学校運営)	学校運営リーダー実習Ⅱ	
2					
3					
4					
5					
集中					

金曜日は、実習、教育実践研究にあてる場合がある。

2学期	月	火	水	木	金
1		学校運営リーダー実習Ⅲ	教育実践研究Ⅲ (学校運営)	学校運営リーダー実習Ⅲ	
2					
3					
4					
5					
集中	学校組織開発演習				
	総合実践研究(学校運営)				



## コース別時間割【教育実践コース 1年】

実習科目	共通科目	総合実践力科目	専門科目		
			学校運営コース	教育実践コース	特別支援教育コース

専門科目は、該当コースの科目を4科目以上履修。

1学期	月	火	水	木	金	
1	ユニバーサルデザインに基づく特別の教育課程の開発と実践	教育実践高度化実習Ⅰ	教育実践研究Ⅰ（教育実践）	高知県における教員の実践的力量形成（※1）	アクティブラーニングの理論と実践	
2	学校組織マネジメントの理論と実践			高知県の学校教育をめぐる現代的課題（※2）	学級経営の開発的実践	
3				不登校・いじめの組織的予防と解決		
4	道徳教育の理論と実践			小学校外国語活動と英語教育		
5	理科学習指導法の理論と実践			変動する社会と生徒指導の理論と実践		
集中	ICT活用における授業設計					

※1・2は、1年次に必修。

金曜日は、実習、教育実践研究にあてる場合がある。

2学期	月	火	水	木	金	
1		教育実践高度化実習Ⅰ	教育実践研究Ⅰ（教育実践）	開かれた教育課程の開発と実践		
2	理科教材研究・開発の理論と実践			教育実践高度化実習Ⅰ	学級経営の理論と実践	
3	教育方法と授業研究の理論と実践					
4					授業研究開発と教育評価	
5					教育相談の理論と実践	
集中	児童生徒理解と人権教育					

## コース別時間割【教育実践コース 2年】

実習科目	共通科目	総合実践力科目	専門科目		
			学校運営コース	教育実践コース	特別支援教育コース

専門科目は、該当コースの科目を4科目以上履修。

1学期	月	火	水	木	金	
1		教育実践高度化実習Ⅱ	教育実践研究Ⅱ (教育実践)	教材開発演習		
2				教育実践高度化実習Ⅱ	理科教育マネジメントの理論と実践	
3						
4						
5	授業方法演習					
集中						

金曜日は、実習、教育実践研究にあてる場合がある。

2学期	月	火	水	木	金	
1		教育実践高度化実習Ⅲ	教育実践研究Ⅲ (教育実践)			
2				教育実践高度化実習Ⅲ		
3						
4						
5	授業デザイン					
集中	総合実践研究(教育実践)					

## コース別時間割【特別支援教育コース 1年】

実習科目	共通科目	総合実践力科目	専門科目		
			学校運営コース	教育実践コース	特別支援教育コース

専門科目は、該当コースの科目を4科目以上履修。

1学期	月	火	水	木	金
1	ユニバーサルデザインに基づく特別の教育課程の開発と実践	特別支援教育実習Ⅰ	教育実践研究Ⅰ（特別支援教育）	高知県における教員の実践的力形成（※1）	アクティブラーニングの理論と実践
2	学校組織マネジメントの理論と実践			高知県の学校教育をめぐる現代的課題（※2）	特別支援教育発達評価の基礎と実際
3	特別支援教育認知能力評価の基礎と実際			不登校・いじめの組織的予防と解決	
4	道徳教育の理論と実践			自閉スペクトラム症評価の基礎と実際	
5	注意欠如多動症評価の基礎と実際			変動する社会と生徒指導の理論と実践	
集中	肢体不自由評価の基礎と実際			病弱評価の基礎と実際	
	特別支援教育ライフスキル評価の基礎と実際				

※1・2は、1年次に必修。

金曜日は、実習、教育実践研究にあてる場合がある。

2学期	月	火	水	木	金
1	特別支援教育の理論と推進・連携体制の構築	特別支援教育実習Ⅰ	教育実践研究Ⅰ（特別支援教育）	開かれた教育課程の開発と実践	
2	限局性学習症指導の理論と実践			特別支援教育実習Ⅰ	学級経営の理論と実践
3	教育方法と授業研究の理論と実践			知的障害指導の理論と実践	
4				自閉スペクトラム症指導の理論と実践	
5	注意欠如多動症指導の理論と実践			教育相談の理論と実践	
集中	肢体不自由指導の理論と実践			病弱指導の理論と実践	
	特別支援教育ライフスキル指導の理論と実践				

## コース別時間割【特別支援教育コース 2年】

実習科目	共通科目	総合実践力科目	専門科目		
			学校運営コース	教育実践コース	特別支援教育コース

専門科目は、該当コースの科目を4科目以上履修。

1学期	月	火	水	木	金	
1		特別支援教育実習Ⅱ	教育実践研究Ⅱ（特別支援教育）	特別支援教育演習		
2					特別支援教育実習Ⅱ	教育実践研究Ⅱ（特別支援教育）
3						
4						
5						
集中						

金曜日は、実習、教育実践研究にあてる場合がある。

2学期	月	火	水	木	金	
1		特別支援教育実習Ⅲ	教育実践研究Ⅲ（特別支援教育）			
2				特別支援教育実習Ⅲ	教育実践研究Ⅲ（特別支援教育）	
3						
4						
5						
集中	総合実践研究（特別支援教育）					

資料 11 : 国立大学法人高知大学職員の定年規則

## 国立大学法人高知大学職員の定年規則

平成16年4月1日  
規則第24号

最終改正 平成26年3月26日規則第101号

### (目的)

第1条 この規則は、国立大学法人高知大学職員就業規則（以下「就業規則」という。）第19条に基づき、職員の定年について、必要な事項を定める。

### (定年)

第2条 職員の定年は、次の各号に定める年齢とする。

- (1) 大学教員 満65歳
- (2) 用務員、守衛等専ら労務に従事する職員 満63歳
- (3) 前2号に掲げる以外の職員 満60歳

2 定年による退職の日は、定年に達した日以後における最初の3月31日とする。

3 前2項の規定は、雇用の期間を定めて雇用された職員には適用しない。

### (定年扱いの退職)

第3条 前条第1項第1号の規定にかかわらず、高知大学に在職していた大学教員から引き続き国立大学法人高知大学の教員となった者のうち、この規則の施行日の前日に高知大学教員定年規則において定年年齢が満63歳と規定されていた大学教員は、次条に定めるところにより、満63歳に達した日以後における最初の3月31日で退職することができる。

2 前項の規定による退職は、就業規則第17条第1項第2号に定める定年による退職として取り扱う。

### (定年扱いの退職の手続)

第4条 前条に定める定年扱いの退職を希望する者は、文書をもって学長にその旨を申し出るものとする。

2 前項の申出があったときは、学長はこれを承認し、本人へ通知する。

3 前項の通知を受けた後は、これを変更することはできない。

### 附 則

1 この規則は、平成16年4月1日から施行する。

### (経過措置)

2 平成 19 年 3 月 31 日に国立大学法人高知大学の教務職員であった者が、平成 19 年 4 月 1 日に助手となった場合の定年年齢については、第 2 条第 1 項第 1 号の規定にかかわらず、満 60 歳とする。

附 則（平成 19 年 3 月 12 日規則第 96 号）

この規則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 26 年 3 月 26 日規則第 101 号）

この規則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。



資料 12 : 教員ごとの勤務モデル

① 鹿嶋(佐藤) 真弓

1学期

	月	火	水	木	金
1		実習巡回指導 教育実践研究	高知県における教員 の実践的力量形成		実習巡回指導 教育実践研究 または 会議
2			学級経営特論	学級経営の開発的 実践	
3					
4					
5					

2学期

	月	火	水	木	金
1		実習巡回指導 教育実践研究	実習巡回指導 教育実践研究		実習巡回指導 教育実践研究 または 会議
2	学級経営演習			学級経営の理論と実 践	
3					
4					
5					

## ② 中野 俊幸

### 1学期

	月	火	水	木	金
1		実習巡回指導 教育実践研究	授業方法演習(数学 1) I	教材開発演習	実習巡回指導 教育実践研究 または 会議
2	教材開発演習(数 学) II				
3					
4				授業方法演習(数学 1) III	
5	授業方法演習				

### 2学期

	月	火	水	木	金
1		実習巡回指導 教育実践研究	実習巡回指導 教育実践研究		実習巡回指導 教育実践研究 または 会議
2				授業方法演習(数学 1) II	
3	教育方法と授業研究 の理論と実践			組織的な授業開発	
4					
5					

### ③ 柳林 信彦

#### 1学期

	月	火	水	木	金
1		実習巡回指導 教育実践研究			実習巡回指導 教育実践研究 または 会議
2	学校組織マネジメントの理論と実践				
3	学校管理職の役割と実践	教育制度論A			
4	教育制度論B	教育制度特論			
5		実習巡回指導 教育実践研究			

#### 2学期

	月	火	水	木	金
1		実習巡回指導 教育実践研究	実習巡回指導 教育実践研究		実習巡回指導 教育実践研究 または 会議
2					
3		教育制度演習			
4	学校に求められるリス クマネジメント	実習巡回指導 教育実践研究			
5					

④ 是永 かな子

1学期

	月	火	水	木	金
1	ユニバーサルデザインに基づく特別の教育課程の開発と実践	専門演習Ⅰ		特別支援教育演習	実習巡回指導 教育実践研究 または 会議
2		実習巡回指導 教育実践研究	高知県の学校教育をめぐる現代的課題		
3					
4					
5					

2学期

	月	火	水	木	金
1	特別支援教育の理論と推進・連携体制の構築	専門演習Ⅱ	実習巡回指導 教育実践研究		実習巡回指導 教育実践研究 または 会議
2		実習巡回指導 教育実践研究			
3					
4					
5					

⑤ 松本 秀彦

1学期

	月	火	水	木	金
1		実習巡回指導 教育実践研究		特別支援教育演習	実習巡回指導 教育実践研究 または 会議
2					
3			障害者支援入門		
4					
5	注意欠如多動症評 価の基礎と実際				

集中講義 肢体不自由評価の基礎と実際

2学期

	月	火	水	木	金
1		実習巡回指導 教育実践研究	実習巡回指導 教育実践研究		実習巡回指導 教育実践研究 または 会議
2					
3			障害者支援の理論と 実践		
4					
5	注意欠如多動症指 導の理論と実践				

⑥ 野村 幸代

1学期

	月	火	水	木	金
1		実習巡回指導 教育実践研究	高知県における教員 の実践的力量的形成	アクティブラーニング の理論と実践	実習巡回指導 教育実践研究 または 会議
2					
3					
4					
5					

2学期

	月	火	水	木	金
1		実習巡回指導 教育実践研究	実習巡回指導 教育実践研究		実習巡回指導 教育実践研究 または 会議
2					
3				組織的な授業開発	
4				授業研究開発と教育 評価	
5					

⑦ 古口 高志

1学期

	月	火	水	木	金
1		実習巡回指導 教育実践研究			実習巡回指導 教育実践研究 または 会議
2					
3	教育相談特論Ⅱ			不登校・いじめの組 織的予防と解決	
4					
5		教育相談C			

2学期

	月	火	水	木	金
1		実習巡回指導 教育実践研究	実習巡回指導 教育実践研究	教育相談(初等)	実習巡回指導 教育実践研究 または 会議
2					
3	教育相談演習Ⅱ				
4					
5				教育相談の理論と実 践	



⑧ 古市 直樹

1学期

	月	火	水	木	金
1		実習巡回指導 教育実践研究		アクティブラーニング の理論と実践	実習巡回指導 教育実践研究 または 会議
2					
3					教育課程論(初等)
4					実習巡回指導 教育実践研究 または 会議
5					

2学期

	月	火	水	木	金
1		実習巡回指導 教育実践研究	実習巡回指導 教育実践研究		実習巡回指導 教育実践研究 または 会議
2					
3	教育方法と授業研究 の理論と実践			組織的な授業開発	
4					
5	教育課程論				

⑨ A

1学期

	月	火	水	木	金
1		実習巡回指導 教育実践研究			実習巡回指導 教育実践研究 または 会議
2	学校組織マネジメントの理論と実践		高知県の学校教育をめぐる現代的課題		
3	学校管理職の役割と実践				
4					
5					

2学期

	月	火	水	木	金
1		実習巡回指導 教育実践研究	実習巡回指導 教育実践研究		実習巡回指導 教育実践研究 または 会議
2					
3					
4			高知県の地域教育リソース開発		
5					

⑩ 楠瀬 弘哲

1学期

	月	火	水	木	金
1		実習巡回指導 教育実践研究			実習巡回指導 教育実践研究 または 会議
2				理科教育マネジメン トの理論と実践	
3					
4					
5	理科学習指導法の 理論と実践				

2学期

	月	火	水	木	金
1		実習巡回指導 教育実践研究	実習巡回指導 教育実践研究	開かれた教育課程 の開発と実践	実習巡回指導 教育実践研究 または 会議
2	理科教材研究・開発 の理論と実践				
3	教育方法と授業研究 の理論と実践				
4					
5					

⑪ 岡田 倫代

1学期

	月	火	水	木	金
1		実習巡回指導 教育実践研究			実習巡回指導 教育実践研究 または 会議
2					
3				不登校・いじめの組 織的予防と解決	
4	道徳教育の理論と実 践				
5				変動する社会と生徒 指導の理論と実践	

2学期

	月	火	水	木	金
1		実習巡回指導 教育実践研究	実習巡回指導 教育実践研究		実習巡回指導 教育実践研究 または 会議
2				学級経営の理論と実 践	
3					
4				高知県の地域教育リ ソース開発	
5					

⑫ 森 有希

1学期

	月	火	水	木	金
1	道徳教育(小学校)	実習巡回指導 教育実践研究	高知県における教員 の実践的力量形成		実習巡回指導 教育実践研究 または 会議
2			高知県の学校教育を めぐる現代的課題		
3					
4	道徳教育の理論と実 践				
5					

2学期

	月	火	水	木	金
1	道徳教育B	実習巡回指導 教育実践研究	実習巡回指導 教育実践研究		実習巡回指導 教育実践研究 または 会議
2					
3	道徳教育C				
4					
5					

⑬ 田中 元康

1学期

	月	火	水	木	金
1		実習巡回指導 教育実践研究			実習巡回指導 教育実践研究 または 会議
2					
3					
4					
5					

2学期

	月	火	水	木	金
1		実習巡回指導 教育実践研究	実習巡回指導 教育実践研究		実習巡回指導 教育実践研究 または 会議
2					
3					
4					
5					

⑭ B

1学期

	月	火	水	木	金
1		実習巡回指導 教育実践研究			実習巡回指導 教育実践研究 または 会議
2					
3					
4					
5				変動する社会と生徒 指導の理論と実践	

2学期

	月	火	水	木	金
1		実習巡回指導 教育実践研究	実習巡回指導 教育実践研究		実習巡回指導 教育実践研究 または 会議
2					
3					
4					
5				教育相談の理論と実 践	

⑮ 本間希久恵

1学期

	月	火	水	木	金
1		実習巡回指導 教育実践研究			実習巡回指導 教育実践研究 または 会議
2					
3					
4					
5					

2学期

	月	火	水	木	金
1		実習巡回指導 教育実践研究	実習巡回指導 教育実践研究		実習巡回指導 教育実践研究 または 会議
2					
3					
4					
5					



⑩ 宇川 浩之

1学期

	月	火	水	木	金
1		実習巡回指導 教育実践研究		特別支援教育演習	実習巡回指導 教育実践研究 または 会議
2					
3					
4					
5					

2学期

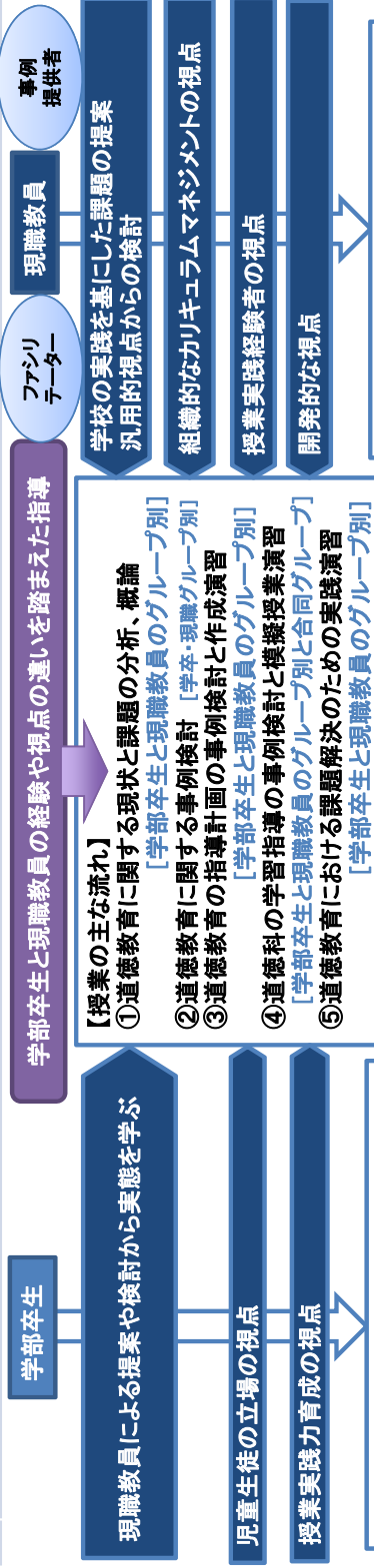
	月	火	水	木	金
1		実習巡回指導 教育実践研究	実習巡回指導 教育実践研究		実習巡回指導 教育実践研究 または 会議
2					
3				知的障害指導の理 論と実践	
4					
5					

資料 13 : 学部卒院生と現職教員院生の到達目標と指導方法の工夫 (例)

# 道徳教育の理論と実践

共通科目	選択必修	1年次・前期	2単位	講義
------	------	--------	-----	----

**科目概要**  
道徳教育及び道徳科の趣旨、内容、指導方法、道徳教育に関する理論的背景や道徳性の発達に関する理論等についての理解をもとに、効果的な道徳教育を創造し展開するための協議や事例検討、指導計画や学習指導案の作成及び模擬授業等の演習を行う。その際、高知県における生徒指導上の課題などの現状と分析を踏まえ、生徒指導の取組を含めた道徳教育に関する多様な実践事例についても考察・検討する。その上で、道徳教育における課題の解決に向けて、カリキュラムマネジメントや学習指導に関する実践を構想し、発表・演習を行うことによって、道徳教育のカリキュラムマネジメント力や道徳科の学習指導に関する実践力を養っていく。



指導方法を工夫した授業実践

指導方法の工夫・開発による授業改善  
組織的なカリキュラムマネジメント

【一般目標】

- 1 道徳科の特質を踏まえた授業を創造し、展開することができる学習指導力を身に付ける。
- 2 児童生徒の実態を踏まえ、道徳教育の計画的・組織的な取組の改善・充実に努めることができるカリキュラムマネジメント力を付ける。

教育実践コース 特別支援教育コース	【入学時】		【修了時目標】
学習指導力	学部卒	道徳教育に関する基本的な指導方法を理解し、授業実践への意欲を持っている。	道徳教育に関する指導方法を工夫し、学習目標の達成に向けた授業実践を行うことができる。
	現職教員	道徳教育に関する理論を理解し、指導方法を工夫して、学習目標の達成に向けた授業実践を行うことができる。	道徳教育に関する専門性を高め、指導方法を工夫・開発し、学習目標の達成に向けた授業改善を行うことができる。
学校運営コース	【入学時】		【修了時目標】
カリキュラム マネジメント力	現職教員	道徳教育に関する教育課程について理解し、これをPDCAサイクルで実施していくことができる。	学校の教育目標の実現に向けて、子どもや地域の実態を踏まえ、道徳教育のカリキュラムマネジメントを行い、PDCAサイクルを生かして計画的・組織的に道徳教育を推進していくことができる。

資料 14 : 履修スケジュール

履修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	共通科目	共通科目							共通科目			
	専門科目	コース別専門科目							コース別専門科目			
	総合実践力科目	教育実践研究 I		省察								
	実習科目			実習 I								
2年次	共通科目	共通科目							共通科目			
	専門科目	コース別専門科目							コース別専門科目			
	総合実践力科目	教育実践研究 II		省察					教育実践研究 III	総括		
	実習科目			実習 II				省察	総合実践研究			実習 III

資料 15 : 履修モデル

# 教職実践高度化専攻 専門職学位課程 履修モデル(現職教員院生用)【学校運営コース】

**受け入れる学生像**

主幹教諭や管理職への昇任が見込まれる業務経験10年以上の中堅教員で、学校経営について学修し、学校全体としての組織的な取組をリードできる力量を身に付けようとしている者。

**コースの特色**

学校運営に通じ、PDCAサイクルが機能する仕組みを設けるなど学校全体としての組織的な取組をリードすることができる高度な専門性と実践的指導力を育成する。

**育成する人材像とキャリアパス**

学校の教育活動を効果的にマネジメントできる力量を備えた主幹教諭や管理職となって、学校全体としての組織的な取組をリードし、学校の教育力を向上させていく。

	1年次				2年次				必修科目：赤字	
	第1学期		第2学期		第1学期		第2学期			
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数		
<b>共通科目</b>		ユニバーサルデザインに基づく特別の教育課程の開発と実践	2	開発された教育課程の開発と実践	2			教育課程の編成・実施に関する領域		
		道徳教育の理論と実践	2	教育方法と授業研究の理論と実践	2			教科等の実践的な指導方法に関する領域		
		変動する社会と生徒指導の理論と実践	2					生徒指導及び教育相談に関する領域		
		不登校・いじめの組織的予防と解決	2							
		学校組織マネジメントの理論と実践	2	学校経営の理論と実践	2			学級経営及び学校経営に関する領域		
		高知県の学校教育をめぐる現代的課題	2					学校教育と教員の在り方に関する領域		
		高知県における教員の実践的力量形成	2							
	修得単位数	14			6			0	共通科目 計 20	
	<b>専門科目</b>		学校管理職の役割と実践	2	学校に求められるリスクマネジメント	2		学校組織開発演習	2	学校運営コース
			教育実践研究 I (学校運営) (通年)	2	教育実践研究 I (学校運営) (通年)	2				
修得単位数		2		4			0	2	専門科目 計 8	
		実習における課題の検証や効果の検証等を行う。理論と実践の融合を図りながら、教育実践を省察・総括する。						2	2	学校運営コース
<b>総合実践力科目</b>	修得単位数	0					2	4	総合実践力科目 計 8	
	<b>実習科目</b>		学校運営リーダー実習 I (通年)	4	学校運営リーダー実習 I (通年)	4	学校運営リーダー実習 II	4	2	学校運営コース
		修得単位数	0		4		4	2	2	実習科目 計 10
合計	16		16		6		8	8	総修得単位数 46	







# 教職実践高度化専攻 専門職学位課程 履修モデル(現職教員院生用)【教育実践コース】

## 受け入れられる学生像

指導教諭や主幹教諭への昇任が見込まれる中堅教員で、児童生徒理解や多様な教育方法について学修し、子どもたちに質の高い学びを保障できる力量を身に付けようとしている者。

## コースの特色

児童生徒理解と多様な教育方法を通じ、学級経営や授業研究を組織的にリードし、全ての子どもたちに質の高い学びを保障することのできる高度な専門性と実践的指導力を育成する。

## 育成する人材像とキャリアパス

学級経営や学習指導に関する高い専門性と実践力を備えた中核教員もしくは指導主事となって、学校の組織的な授業改善をリードしていく。

**修了要件** 共通科目20単位以上、専門科目8単位以上、総合実践力科目8単位、実習科目10単位の合計46単位以上を修得すること

**必修科目** : 赤字

年次	1年次				2年次			
	第1学期		第2学期		第1学期		第2学期	
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数
共通科目	ユニバーサルデザインに基づく特別の教育課程の開発と実践	2	開かれた教育課程の開発と実践	2				
	道徳教育の理論と実践	2	教育方法と授業研究の理論と実践	2				
	変動する社会と生徒指導の理論と実践	2						
	不登校・いじめの組織的予防と解決	2						
	学校組織マネジメントの理論と実践	2	学級経営の理論と実践	2				
	高知県の学校教育をめぐる現代的課題	2						
	高知県における教員の実践的力量形成	2						
	修得単位数	14			6		0	
	学習指導に関する理論と児童生徒理解や多様な教育方法について学修する。							
	専門科目	小学校外国語活動と英語教育	2	授業研究開発と教育評価	2	教材開発演習	2	授業デザイン
修得単位数	2		2		2		2	8
総合実践力科目	教育実践研究Ⅰ(教育実践)(通年)	2	教育実践研究Ⅰ(教育実践)(通年)	2	教育実践研究Ⅱ(教育実践)	2	教育実践研究Ⅲ(教育実践)	2
修得単位数	0		2		2		2	4
実習科目	教育実践高度化実習Ⅰ(現職教員用)(通年)	4	教育実践高度化実習Ⅰ(現職教員用)(通年)	4	教育実践高度化実習Ⅱ(現職教員用)	4	教育実践高度化実習Ⅲ(現職教員用)	2
修得単位数	0		4		4		2	10
合計		16		14		8		46

# 教職実践高度化専攻 専門職学位課程 履修モデル(現職教員院生用)【教育実践コース(理科分野科目履修)】

## 受け入れる学生像

指導教諭や主幹教諭への昇任が見込まれる中堅教員で、児童生徒理解や多様な教育方法について学修し、子どもたちに質の高い学びを確保できる力量を身に付けようとしている者。

## コースの特色

多様な教育方法に通じ、理科分野に係る授業研究を組織・リードし、全ての子どもたちに質の高い学びを確保することができる高度な専門性と実践的指導力を育成する。

## 育成する人材像とキャリアパス

理科分野に係る学習指導に関する高い専門性と実践力を備えた中核教員もしくは指導主事となって、学校の組織的な授業改善をリードしていく。

**修了要件** 共通科目20単位以上、専門科目8単位以上、総合実践力科目8単位、実習科目10単位の合計46単位以上を修得すること

**必修科目：赤字**

年次 学期	1年次				2年次			
	第1学期		第2学期		第1学期		第2学期	
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数
共通科目	ユニバーサルデザインに基づいた特別の教育課程の開発と実践	2	開かれた教育課程の開発と実践	2				
	アクティブラーニングの理論と実践	2	教育方法と授業研究の理論と実践	2				
	変動する社会と生徒指導の理論と実践	2						
	不登校・いじめの組織的予防と解決	2						
	学校組織マネジメントの理論と実践	2	学校経営の理論と実践	2				
	高知県の学校教育をめぐる現代的課題	2						
	高知県における教員の実践的力量形成	2						
	理科学習指導法の理論と実践	14						
	ICT活用における授業設計	2						
	修得単位数				6			0
専門科目	学習指導に関する理論と多様な教育方法及び理科分野科目を学修する。		理科教育マネジメントの理論と実践	2				
	修得単位数	4						
総合実践力科目	実習における課題の検討や効果の検証等を行って、理論と実践の融合を図りながら、教育実践を省察・総括する。		教育実践研究 I (教育実践)(通年)	2	教育実践研究 II (教育実践)	2	教育実践研究 III (教育実践)	2
	修得単位数	0						
実習科目	学校経営や学習指導に関する教育課題を主体的・協働的に解決することのできる高度な教育実践力を身に付ける。		教育実践高度化実習 I (現職教員用)(通年)	4	教育実践高度化実習 II (現職教員用)	4	教育実践高度化実習 III (現職教員用)	2
	修得単位数	0			4			
合計		18		14		8		46

総合実践力科目  
実習科目

共通科目  
専門科目

# 教職実践高度化専攻 専門職学位課程 履修モデル(ストレートマスター用)【特別支援教育コース】

## 受け入れる学生像

障害種別ごとの実態評価法や指導・支援法について学修し、特別支援教育に係る実践を改善していくことのできる力量を身に付けた教員になることを志望している者。

## コースの特色

障害種別ごとの実態評価法や指導・支援法に関する高度な専門性と、特別支援教育の実践を改善し、組織的な推進体制を構築・継続していくことのできる能力を育成する。

## 育成する人材像とキャリアパス

教員となり、特別支援教育に関する即戦力になるとともに、所属校の若手教員に対して特別支援教育分野に関する助言を行っていくなど、初任者段階から特別支援教育を推進していく中核教員としての意識を持って教育実践に当たっていく。

**修了要件** 共通科目20単位以上、専門科目8単位以上、総合実践力科目8単位、実習科目10単位の合計46単位以上を修得すること

**必修科目** : 赤字

	1年次				2年次			
	第1学期		第2学期		第1学期		第2学期	
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数
共通科目		2	ユニバーサルデザインに基づく特別の教育課程の開発と実践	2	開かれた教育課程の開発と実践			
		2	道徳教育の理論と実践	2	教育方法と授業研究の理論と実践			
		2	変動する社会と生徒指導の理論と実践	2	教育相談の理論と実践			
		2	学校組織マネジメントの理論と実践	2	学級経営の理論と実践			
		2	高知県の学校教育をめぐる現代的課題					
		2	高知県における教員の実践的力形成					
修得単位数		12		8		0		20
専門科目		2	注意欠如多動症評価の基礎と実際	2	特別支援教育の理論と推進・連携体制の構築	2	特別支援教育演習	
		2	教育実践研究Ⅰ(特別支援教育)(通年)	2	教育実践研究Ⅰ(特別支援教育)(通年)	2	教育実践研究Ⅱ(特別支援教育)	2
修得単位数		2		4		2		8
総合実践力科目						2	教育実践研究Ⅲ(特別支援教育)	2
						2	総合実践研究(特別支援教育)	2
修得単位数		0		2		4		8
実習科目						4	特別支援教育実習Ⅱ(学部卒用)	2
						4	特別支援教育実習Ⅲ(学部卒用)	2
修得単位数		0		4		4		10
合計		14		18		8		46

総合実践力科目 計 8

実習科目 計 10

総修得単位数 46



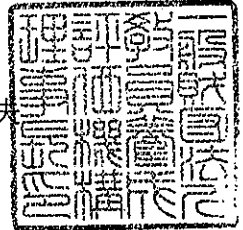
資料 16 : 一般財団法人教員養成評価機構文書

教 評 価 第 3 2 号  
平 成 2 9 年 2 月 1 日

高知大学長  
脇 口 宏 殿

一般財団法人教員養成評価機構

理事長 田村 哲夫



高知大学教職大学院の認証評価実施について

貴大学に設置予定の専門職大学院設置基準第26条に規定される教職大学院について、学校教育法第109条第3項に規定する認証評価は、貴大学からの申請に基づき当機構で実施いたします。

(本件担当)

〒184-8501

東京都小金井市貫井北町4-1-1 東京学芸大学内

一般財団法人教員養成評価機構事務局

酒本・山本・大町

Tel:042-329-7860 Fax:042-329-7889

E-mail:hyokajimu@iete.jp

資料 17 : 実習関係資料

実習科目の評価表 (17-1)

実習計画 (17-2)

実習記録 (17-3)

実習所見表 (17-4)



# 学部卒院生【教育実践高度化実習 I】「実習評価表」

目的	学級経営や学習指導についての理解を促進するとともに、教科等の学習指導における単元構想力や授業実践力を養う。		項目ごとの主たる評価資料(■)	点数	総合判定
	実習計画	実習記録			
実習概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>自身の論究すべき実践的研究課題を整理する。</li> <li>学級に配属され、T2(学級担任・授業補助)として教育活動を行う。</li> <li>担任業務の補助や特定の校務分担の補佐を行う。</li> </ul>				
育成する力	到達目標	評価項目			
リスクマネジメント力	児童生徒の生命や心身等に危害をもたらす危険やいじめなどの防止策や、対処の仕方を理解することができる。	1 児童生徒の生命や心身等に危害をもたらす危険やいじめなどの防止策や、対処の仕方を理解している。			
学級・HR経営力	児童生徒の特性を把握し、安心・安全に過ごせる学級・HR経営の方法について理解できる。	2 児童生徒の特性を把握している。			
学習指導力	教材研究を基に、単元計画・学習指導案の作成、授業実践を行うことができる。	3 安心・安全に過ごせる学級・HR経営の方法について理解している。			
チームマネジメント力	学校や学年団など組織の一員としての対応ができる。	4 教材の価値を捉え、教材研究を行っている。			
セルフマネジメント力	教員としての職務を理解し、自己研鑽に努めることができる。	5 教材研究を生かして単元計画・学習指導案を作成している。			
		6 授業のねらいに応じて授業実践を行っている。			
		7 他の教員の授業を参観し、その成果や課題を自己の学びにつなげている。			
		8 学校や学年団など組織の一員として対応している。			
		9 教員としての職務を理解している。			
		10 自己研鑽に努めている。			
合計点			総合判定		

(1) 評価資料

- ・ 実習計画
- ・ 実習記録
- ・ 実習ポートフォリオ(実習において作成した単元計画や学習指導案、調査資料等の研究課題についての作成物等)
- ・ 実習中の教育実践(学校運営に関する取組、学級経営や学習指導、特別支援教育に関する実践等)
- ・ 実習中の取組状況(実習先の校長・担当者等からの所見、実習の振り返りにおける協議・意見交換等)

(2) 点数配分…各項目10点

(3) 各項目の評価基準…「十分に達している:10~9点」、「達成している:8~6点」、「十分ではない:5~0点」

(4) 総合判定…各評価項目の総点によって、

「秀:90点以上」「優:89~80点」「良:79~70点」「可:69~60点」「不合格:59点以下」の基準に従って総合判定を行う。

## 学部卒院生【教育実践高度化実習Ⅱ】「実習評価表」

目的	・学級経営や学習指導についての理解を深めるとともに、教育方法についての理解を基にして教育実践を行い、学級経営力や単元構想力や授業実践力の向上を図る。			
	実習概要	・実習Ⅰで身に付けた単元構想力や教育実践力を協力校の実態に応じて発揮し、自身の研究を深化させる。 ・授業や学校行事、校内研究会や職員会議などにも参加し、学校の一員として児童生徒の指導に当たる。		
育成する力	到達目標	評価項目	点数	項目ごとの主たる評価資料(■)
リスクマネジメント力	児童生徒の生命や心身等に危害をもたらす危険やいじめなどを把握し、対応しようことができる。	1 児童生徒の生命や心身等に危害をもたらす危険やいじめなどを把握し、対応しようとしている。		実習計画 実習記録 実習ポートフォリオ 実習中の教育実践 実習中の取組状況
学級・HR経営力	児童生徒一人一人の特性を把握し、よりよい人間関係や学級集団を作っていくことができる。	2 児童生徒一人一人の特性を把握している。 3 よりよい人間関係や学級集団を作っている。		
学習指導力	自他の授業分析と教育方法についての理解を基に、指導方法を工夫して授業実践を行うことができる。	4 自他の授業分析について理解している。 5 教育方法についての理解を基に、単元計画・学習指導案を作成している。		
チームマネジメント力	学校の教育課題の解決に向けてチームで対応することができる。	6 指導方法を工夫して授業実践を行っている。 7 他の教員と協働することの意義を理解している。 8 学校の教育課題の解決に向けてチームで対応している。		
セルフマネジメント力	指導や助言を受け止めて教員としての力量を高め、自己研鑽に努めていくことができる。	9 指導や助言を受け止めて教員としての力量を高めている。 10 自己研鑽に努めている。		
合計点				総合判定

(1) 評価資料

- ・ 実習計画
- ・ 実習記録
- ・ 実習ポートフォリオ(実習において作成した単元計画や学習指導案、調査資料等の研究課題についての作成物等)
- ・ 実習中の教育実践(学校運営に関する取組、学級経営や学習指導、特別支援教育に関する実践等)
- ・ 実習中の取組状況(実習先の校長・担当等からの所見、実習の振り返りにおける協議・意見交換等)

(2) 点数配分…各項目10点

(3) 各項目の評価基準…「十分に達している:10～9点」、「達成している:8～6点」、「十分ではない:5～0点」

(4) 総合判定…各評価項目の総点によって、

「秀:90点以上」「優:89～80点」「良:79～70点」「可:69～60点」「不合格:59点以下」の基準に従って総合判定を行う。

## 学部卒院生【教育実践高度化実習Ⅲ】「実習評価表」

目的	到達目標		評価項目	点数	項目ごとの主たる評価資料(■)			
	育成する力	育成する力			実習計画	実習記録	実習ポートフォリオ	実習中の教育実践
<p>・教育方法に関する専門性を高めるとともに、教材開発や授業実践などを通して教育課題を主体的に解決していくことができる教育実践力を養う。</p> <p>・実習Ⅰ、実習Ⅱで身に付けた実践力を協力を協力校において発揮し、残された課題を発見してその克服に当たる。</p> <p>・自身の教職就職後の研究テーマを明確化する。</p> <p>・協力校において、学級経営、授業実践、特別支援教育等に関する教育活動に参画する。</p>								
リスクマネジメント力	児童生徒の生命や心身等に危害をもたらす危険やいじめなどに対して対応したりすることができる。	1	児童生徒の生命や心身等に危害をもたらす危険やいじめなどの防止をしたり、それらに対処したりしようとしている。					
学級・HR経営力	児童生徒一人一人に応じた適切な指導・支援を行って、学級・HR経営をしていくことができる。	2	児童生徒一人一人に応じた適切な指導・支援を行っている。					
学習指導力	教育方法に関する専門性を生かして授業実践を行い、教材を開発したり指導技術を高めたりすることができる。	3	学級・HR経営の一端を担っている。					
チームマネジメント力	学校組織の一員として、自己の役割を果たし、互いに学び合っていくことができる。	4	教育方法に関する専門性を生かして単元計画・学習指導案を作成している。					
セルフマネジメント力	自身の実践を省察し、向上心を持って研究を深めていくこととする。	5	教育方法に関する専門性を生かして授業実践を行っている。					
		6	教材を開発したり指導技術を高めたりしている。					
		7	学校組織の一員として、自己の役割を果たしている。					
		8	互いに学び合う意識を持って教育活動を行っている。					
		9	自身の実践を省察している。					
		10	向上心を持って研究を深めていこうとしている。					
合計点								
								総合判定

### (1) 評価資料

- ・ 実習計画
- ・ 実習記録
- ・ 実習ポートフォリオ(実習において作成した単元計画や学習指導案、調査資料等の研究課題についての作成物等)
- ・ 実習中の教育実践(学校運営に関する取組、学級経営や学習指導、特別支援教育に関する実践等)
- ・ 実習中の取組状況(実習先の校長・担当者等からの所見、実習の振り返りにおける協議・意見交換等)

### (2) 点数配分…各項目10点

(3) 各項目の評価基準…「十分に達している:10～9点」、「達成している:8～6点」、「十分ではない:5～0点」

### (4) 総合判定…各評価項目の総点によって、

「秀:90点以上」「優:89～80点」「良:79～70点」「可:69～60点」「不合格:59点以下」の基準に従って総合判定を行う。

## 学部卒院生【特別支援教育実習Ⅰ】「実習評価表」

目的	特別支援教育の観点から学級経営や学習指導等についての理解を促進し、学習・生活指導における支援案を作成し、支援を実施する実践力を養う。			項目ごとの主たる評価資料(■)					
	実習概要	到達目標	評価項目	点数	実習計画	実習記録	実習ポートフォリオ	実習中の教育実践	実習中の取組状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育の観点から学級経営や学習指導等についての理解を促進し、学習・生活指導における支援案を作成し、支援を実施する実践力を養う。</li> <li>・自身の論究すべき実践的研究課題を整理する。</li> <li>・学級に配属され、T2(学級担任・授業補助)として教育活動を行う。</li> <li>・対象となる児童生徒への授業支援・個別指導を行う。</li> <li>・担任業務の補助や特定の校務分掌の補佐を行う。</li> </ul>									
育成する力									
リスクマネジメント力	特別支援教育の観点から児童生徒の生命や心身等に危害をもたらす危険やいじめなどの防止策や、対処の仕方を理解することができる。	1	特別支援教育の観点から児童生徒の生命や心身等に危害をもたらす危険やいじめなどの防止策や、対処の仕方を理解している。						
学級・HR経営力	特別支援教育の観点から児童生徒の特性を把握し、安心・安全に過ごさせる学級・HR経営の方法について理解できる。	2	特別支援教育の観点から児童生徒の特性を把握している。						
学習指導力	特別支援教育の観点から教材の研究を基に、単元計画・学習指導への支援案の作成、支援実践を行うことができる。	3	安心・安全に過ごさせる学級・HR経営の方法について理解している。						
チームマネジメント力	特別支援教育上の課題に対して、学校や学年団など組織の一員としての対応ができる。	4	特別支援教育の観点から教材の価値を捉え、教材研究を行っている。						
セルフマネジメント力	教員としての職務を理解し、自己研鑽に努めることができる。	5	教材研究を生かして単元計画・学習指導への支援案を作成している。						
		6	児童生徒の実態に応じて支援実践を行っている。						
		7	他の教員の授業を参観し、その成果や課題を自己の学びにつなげている。						
		8	特別支援教育上の課題に対して、学校や学年団など組織の一員として対応している。						
		9	教員としての職務を理解している。						
		10	自己研鑽に努めている。						
合計点					総合判定				

**(1) 評価資料**

- ・ 実習計画
- ・ 実習記録
- ・ 実習ポートフォリオ(実習において作成した単元計画や学習指導案、調査資料等の研究課題についての作成物等)
- ・ 実習中の教育実践(学校運営に関する取組、学級経営や学習指導、特別支援教育に関する実践等)
- ・ 実習中の取組状況(実習先の校長・担当等からの所見、実習の振り返りにおける協議・意見交換等)

(2) 点数配分…各項目10点

(3) 各項目の評価基準…「十分に達している:10～9点」、「達成している:8～6点」、「十分ではない:5～0点」

(4) 総合判定…各評価項目の総点によって、  
 「秀:90点以上」「優:89～80点」「良:79～70点」「可:69～60点」「不合格:59点以下」の基準に従って総合判定を行う。

## 学部卒院生【特別支援教育実習Ⅱ】「実習評価表」

<b>目的</b>	・教育実践研究Ⅰの終了時に行った実践評価を基に支援を実践し、その支援成果を評価することで、自身の研究を深化させる。							
<b>実習概要</b>	・実習Ⅰで身に付けた単元構想力や教育実践力を協力校の実態に応じて発揮し、自身の研究を深化させる。 ・授業や学校行事、校内研究会や職員会議などにも参加し、学校の一員として特別支援教育の観点から児童生徒の指導に当たる。							
<b>育成する力</b>	<b>到達目標</b>	<b>評価項目</b>	<b>点数</b>	<b>項目ごとの主たる評価資料(■)</b>				
リスクマネジメント力	特別支援教育の観点から児童生徒の生命や心身等に危害をもたらす危険やいじめなどを把握し、対応しようとすることができる。	1 特別支援教育の観点から児童生徒の生命や心身等に危害をもたらす危険やいじめなどを把握し、対応しようとしている。		実習計画	実習記録	実習ポートフォリオ	実習中の教育実践	実習中の取組状況
学級・HR経営力	特別支援教育の観点から児童生徒一人一人の特性や障害の状況を把握し、よりよい人間関係や学級集団を作っていくこととする。	2 特別支援教育の観点から児童生徒一人一人の特性や障害の状況を把握している。						
		3 よりよい人間関係や学級集団を作っていくこととしている。						
<b>学習指導力</b>	自他の授業分析と教育方法についての特別支援教育の観点からの理解を基に、指導方法を工夫して研究課題に応じた支援を行うことができる。	4 自他の授業分析について理解している。						
		5 教育方法についての特別支援教育の観点からの理解を基に、単元計画・学習指導への支援案を作成している。						
		6 指導方法を工夫して研究課題に応じた支援を実施している。						
<b>チームマネジメント力</b>	学校の特別支援教育上の課題の解決に向けてチームで対応することができる。	7 他の教員と協働することの意義を理解している。						
		8 学校の特別支援教育上の課題の解決に向けてチームで対応している。						
<b>セルフマネジメント力</b>	指導や助言を受け止めて教員としての力量を高め、自己研鑽に努めていくことができる。	9 指導や助言を受け止めて教員としての力量を高めている。						
		10 自己研鑽に努めている。						
		<b>合計点</b>		<b>総合判定</b>				

**(1) 評価資料**

- ・ 実習計画
- ・ 実習記録
- ・ 実習ポートフォリオ(実習において作成した単元計画や学習指導案、調査資料等の研究課題についての作成物等)
- ・ 実習中の教育実践(学校運営に関する取組、学級経営や学習指導、特別支援教育に関する実践等)
- ・ 実習中の取組状況(実習先の校長・担当者等からの所見、実習の振り返りにおける協議・意見交換等)

**(2) 点数配分…各項目10点**

**(3) 各項目の評価基準…「十分に達している:10～9点」、「達成している:8～6点」、「十分ではない:5～0点」**

**(4) 総合判定…各評価項目の総点によって、**

「秀:90点以上」「優:89～80点」「良:79～70点」「可:69～60点」「不合格:59点以下」の基準に従って総合判定を行う。

## 学部卒院生【特別支援教育実習Ⅲ】「実習評価表」

目的	「特別支援教育実習Ⅰ・Ⅱ」及び「教育実践研究Ⅰ・Ⅱ」で身に付けた実践力を発揮し、残された課題を発見してその克服に当たる。また、自身の就職就職後の研究テーマを明確化する。				
	実習概要	「実習Ⅰ、実習Ⅱで身に付けた実践力を協力校において発揮し、残された課題を発見してその克服に当たる。 ・自身の就職就職後の研究テーマを明確化する。 ・協力校において、学級経営、授業実践、特別支援教育等に関する教育活動に参画する。」			
育成する力	到達目標	評価項目	点数	項目ごとの主たる評価資料(■)	
リスクマネジメント力	特別支援教育の観点から児童生徒の生命や心身等に危害をもたらす危険やいじめなどの防止をしたり、それらに対処したりしている。	1	特別支援教育の観点から児童生徒の生命や心身等に危害をもたらす危険やいじめなどの防止をしたり、それらに対処したりしている。	/	/
	特別支援教育の観点から児童生徒一人一人の特性や障害の状況に応じた適切な指導・支援を行っている。	2	特別支援教育の観点から児童生徒一人一人の特性や障害の状況に応じた適切な指導・支援を行っている。	/	/
学級・HR経営力	特別支援教育の観点から児童生徒一人一人の特性や障害の状況に応じて指導・支援を行って、学級・HR経営をしていくことができる。	3	学級・HR経営の一端を担っている。	/	/
学習指導力	特別支援教育の専門性を生かして教材開発や指導方法の工夫を行って授業実践を行い、特別支援教育の観点から教材を開発したり指導技術を高めたりすることができる。	4	特別支援教育の専門性を生かして単元計画・学習指導への支援案を作成している。	/	/
	特別支援教育の観点から教材を開発したり指導技術を高めたりすることができる。	5	特別支援教育の専門性を生かして授業実践を行っている。	/	/
チームマネジメント力	特別支援教育の観点から教材を開発したり指導技術を高めたりすることができる。	6	特別支援教育の観点から教材を開発したり指導・支援技術を高めたりしている。	/	/
	特別支援教育の観点から教材を開発したり指導技術を高めたりすることができる。	7	特別支援教育の観点から教材を開発したり指導・支援技術を高めたりしている。	/	/
セルフマネジメント力	特別支援教育の観点から教材を開発したり指導技術を高めたりすることができる。	8	互いに学び合う意識を持って教育活動を行っている。	/	/
	特別支援教育の観点から教材を開発したり指導技術を高めたりすることができる。	9	自身の実践を省察している。	/	/
		10	向上心を持って研究を深めていこうとしている。	/	/
<b>合計点</b>				総合判定	

### (1) 評価資料

- ・ 実習計画
- ・ 実習記録
- ・ 実習ポートフォリオ(実習において作成した単元計画や学習指導案、調査資料等の研究課題についての作成物等)
- ・ 実習中の教育実践(学校運営に関する取組、学級経営や学習指導、特別支援教育に関する実践等)
- ・ 実習中の取組状況(実習先の校長・担当者等からの所見、実習の振り返りにおける協議・意見交換等)

### (2) 点数配分…各項目10点

(3) 各項目の評価基準…「十分に達している:10～9点」、「達成している:8～6点」、「十分ではない:5～0点」

(4) 総合判定…各評価項目の総点によって、

「秀:90点以上」「優:89～80点」「良:79～70点」「可:69～60点」「不合格:59点以下」の基準に従って総合判定を行う。

## 現職教員院生【学校運営リーダー実習Ⅰ】「実習評価表」

目的		学校運営についての問題分析力や課題発見力、解決策の構想力を養う。					
実習概要		・実習先において、学校課題や教育課題を分析し、その明確化を図り、実践研究の見通しを立てる。 ・実習先において、学校運営に関する教育活動に参画する。					
育成する力	到達目標	評価項目	点数	項目ごとの主たる評価資料(■)			
				実習計画	実習記録	実習ポートフォリオ	実習中の教育実践
リスクマネジメント力 カリキュラムマネジメント力	様々な危険を防止し、万が一の事態にも適切かつ迅速に対処するための手立てを理解している。	1	様々な危険を防止し、万が一の事態にも適切かつ迅速に対処するための手立てを理解している。				
	いじめなど生徒指導上の課題も含め、様々な危険の予防・解決に向けて適切な対応をしている。	2					
	学校の教育課題を踏まえた開かれた教育課程の編成について理解している。	3					
	教育課程を編成し、PDCAサイクルを推進していくための方策を構想することができる。	4					
校内研修推進力	校内研修を推進していくための見通しを持つことができる。	5	校内研修を推進していくための見通しを持っている。				
ネットワークマネジメント力	教育資源を統合・調整し、学校組織が効率的・効果的に動く仕組みを明確にすることができる。	6	学校組織が効率的・効果的に動くよう、リーダーシップを発揮している。				
		7	教育資源を統合・調整し、学校組織が効率的・効果的に動く仕組みを明確にしている。				
戦略マネジメント力	学校の課題や教育課題を分析し、課題解決の見通しを立てることができる。	8	学校の課題や教育課題を分析し、諸課題の要因をつかんでいる。				
セルフマネジメント力	探究心をもって研究と教育活動を展開し、自己研鑽に努めていくことができる。	9	学校の課題や教育課題を解決するための見通しを立てている。				
		10	探究心をもって研究と教育活動を展開し、自己研鑽に努めている。				
合計点							
							総合判定

### (1) 評価資料

- ・ 実習計画
- ・ 実習記録
- ・ 実習ポートフォリオ(実習において作成した単元計画や学習指導案、調査資料等の研究課題についての作成物等)
- ・ 実習中の教育実践(学校運営に関する取組、学級経営や学習指導、特別支援教育に関する実践等)
- ・ 実習中の取組状況(実習先の校長・担当者等からの所見、実習の振り返りにおける協議・意見交換等)

### (2) 点数配分…各項目10点

(3) 各項目の評価基準…「十分に達している:10~9点」、「達成している:8~6点」、「十分ではない:5~0点」

(4) 総合判定…各評価項目の総点によって、

「秀:90点以上」「優:89~80点」「良:79~70点」「可:69~60点」「不合格:59点以下」の基準に従って総合判定を行う。

## 現職教員院生【学校運営リーダー実習Ⅱ】「実習評価表」

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校運営に関する研究課題についての実践研究を通して課題解決力を養う。</li> <li>実習Ⅰで行った実践研究の分析をもとに更に探究的に課題解決を行う。</li> <li>実習先において、学校運営に関する教育活動に参画する。</li> </ul>			
実習概要				
育成する力	到達目標	評価項目	点数	項目ごとの主たる評価資料(■)
リスクマネジメント力	様々な危険を防止し、万が一の事態にも適切かつ迅速に対処することができる。	1 様々な危険を防止し、万が一の事態にも適切かつ迅速に対処するための手立てを理解している。 2 いじめなど生徒指導上の課題も含め、様々な危険の予防・解決に向けて適切かつ迅速な対応をしている。		実習計画 実習記録 実習ポートフォリオ 実習中の教育実践 実習中の取組状況
カリキュラムマネジメント力	教育課程を編成し、PDCAサイクルを推進していくための方策を実践することができる。	3 学校の教育課題を踏まえた開かれた教育課程の編成に参画している。 4 PDCAサイクルを生かして教育課程を編成、充実していくための方策を実践している。		
校内研修推進力	校内研修を充実させていくための取組を実践することができる。	5 校内研修を充実させていくための取組を実践することができる。		
ネットワークマネジメント力	教育資源を統合・調整し、学校組織が効率的・効果的に動くよう、組織改革を推進していくことができる。	6 学校の組織改革が推進していくよう、リーダーシップを発揮している。 7 教育資源を統合・調整し、学校組織が効率的・効果的に動くよう、組織改革を推進していくことができる。		
戦略マネジメント力	学校の教育課題解決の道筋に沿って解決策を実行できる。	8 学校の教育課題を分析し、課題解決の道筋を明らかにしている。		
セルフマネジメント力	探究心をもって研究と教育活動を展開し、自己研鑽に努めていくことができる。	9 学校の教育課題解決の道筋に沿って解決策を実行できる。 10 探究心をもって研究と教育活動を展開し、自己研鑽に努めている。		
合計点				総合判定

### (1) 評価資料

- 実習計画
- 実習記録
- 実習ポートフォリオ(実習において作成した単元計画や学習指導案、調査資料等の研究課題についての作成物等)
- 実習中の教育実践(学校運営に関する取組、学級経営や学習指導、特別支援教育に関する実践等)
- 実習中の取組状況(実習先の校長・担当者等からの所見、実習の振り返りにおける協議・意見交換等)

(2) 点数配分…各項目10点

(3) 各項目の評価基準…「十分に達している:10～9点」、「達成している:8～6点」、「十分ではない:5～0点」

(4) 総合判定…各評価項目の総点によって、  
「秀:90点以上」「優:89～80点」「良:79～70点」「可:69～60点」「不合格:59点以下」の基準に従って総合判定を行う。



## 現職教員院生【学校運営リーダー実習Ⅲ】「実習評価表」

目的	実習概要	育成する力	到達目標	評価項目	点数	項目ごとの主たる評価資料(■)				
						実習計画	実習記録	実習ポートフォリオ	実習中の教育実践	実習中の取組状況
・学校運営に関する専門性を高めるとともに、研究課題を主体的、探究的、協働的に解決して確かな指導理論を構築することができる高度な学校運営力を養う。	・実習Ⅰ、実習Ⅱで得られた知見等に基づいて、自ら企画・立案した解決策を探究的に実践し、その成果を検証して、より効果的な実践(指導理論)を構築していく。 ・実習先において、学校運営に関する教育活動に参画する。									
リスクマネジメント力	様々な危険を防止し、万が一の事態にも適切かつ迅速に対処するために、自ら企画した効果的な方策を生かすことができる。	1	様々な危険を防止し、万が一の事態にも適切かつ迅速に対処するために、自ら企画した効果的な方策を生かす計画を立てている。							
カリキュラムマネジメント力	教育課程を編成し、PDCAサイクルを推進していくために、自ら企画した効果的な方策を生かすことができる。	2	いじめなど生徒指導上の課題も含め、様々な危険の予防・解決に向けて、自ら企画した効果的な方策を生かしている。							
校内研修推進力	校内研修の充実のために、自ら企画した効果的な方策を生かすことができる。	3	学校の教育課題を踏まえた開かれた教育課程を編成していくための方策を企画している。							
ネットワークマネジメント力	教育資源を統合・調整し、学校組織が効果的に動くよう組織改革を推進していくために、自ら企画した効果的な方策を生かすことができる。	4	教育課程を編成し、PDCAサイクルを推進していくために、自ら企画した効果的な方策を生かしている。							
戦略マネジメント力	学校課題や教育課題解決のために、自ら企画した効果的な方策を生かすことができる。	5	校内研修の充実のために、自ら企画した効果的な方策を生かしている。							
セルフマネジメント力	探究心をもって研究と教育活動を展開し、自己研鑽と自己変革に努めることができる。	6	学校組織が効果的・効率的に動くよう組織改革を推進していくための方策を検討し、企画している。							
		7	教育資源を統合・調整し、学校組織が効果的に動くよう組織改革を推進していくために、自ら企画した効果的な方策を生かしている。							
		8	学校課題や教育課題解決のために、自ら企画した効果的な方策を生かしている。							
		9	学校課題や教育課題解決のために、自ら企画した効果的な方策を生かしている。							
		10	探究心をもって研究と教育活動を展開し、自己研鑽と自己変革に努めている。							
合計点										
総合判定										

### (1) 評価資料

- ・ 実習計画
- ・ 実習記録
- ・ 実習ポートフォリオ(実習において作成した単元計画や学習指導案、調査資料等の研究課題についての作成物等)
- ・ 実習中の教育実践(学校運営に関する取組、学級経営や学習指導、特別支援教育に関する実践等)
- ・ 実習中の取組状況(実習先の校長・担当者等からの所見、実習の振り返りにおける協議・意見交換等)

(2) 点数配分…各項目10点

(3) 各項目の評価基準…「十分に達している:10~9点」、「達成している:8~6点」、「十分ではない:5~0点」

(4) 総合判定…各評価項目の総点によって、

「秀:90点以上」「優:89~80点」「良:79~70点」「可:69~60点」「不合格:59点以下」の基準に従って総合判定を行う。

# 現職教員院生【教育実践高度化実習Ⅰ】「実習評価表」

目的	学級経営、学習指導についての問題分析力や課題発見力、解決策の構想力を養う。			点数	項目ごとの主たる評価資料(■)				
	実習概要	到達目標	評価項目		実習計画	実習記録	実習ポートフォリオ	実習中の教育実践	実習中の取組状況
育成する力									
リスクマネジメント力	様々な危険を防止し、万が一の事態にも適切かつ迅速に対処するための手立てを理解し、対応することができる。	1 様々な危険を防止し、万が一の事態にも適切かつ迅速に対処するための手立てを理解し、対応している。							
学級・HR経営力	児童生徒一人一人の特性を把握してその能力を伸ばしていくこととしていえる。	2 児童生徒一人一人の特性を把握してその能力を伸ばしていくこととしていえる。							
学習指導力	学習指導についての課題の分析を行い、指導方法等についての改善策を構想することができる。	3 学級・HRにおける集団としての関わりを深めていくための手立てを見いだすことができる。							
校内研修推進力	校内研修を推進していくための見通しを持つことができる。	4 学習指導についての課題の分析・考察を行っている。							
チームマネジメント力	教員間で協働して、学校の課題を明確にしていけることができる。	5 指導方法等についての改善策を構想している。							
戦略マネジメント力	学校の課題や教育課題を分析し、課題解決の見通しを立てることができる。	6 校内研修を推進していくための見通しを持っている。							
セルフマネジメント力	探究心をもって研究と教育活動を展開し、自己研鑽に努めていくことができる。	7 教員間で協働して、学校の課題を明確にしている。							
		8 学校の課題や教育課題を分析し、諸課題の要因をつかんでいる。							
		9 学校の課題や教育課題を解決するための見通しを立てている。							
		10 探究心をもって研究と教育活動を展開し、自己研鑽に努めている。							
				合計点					
				総合判定					

## (1) 評価資料

- ・ 実習計画
- ・ 実習記録
- ・ 実習ポートフォリオ(実習において作成した単元計画や学習指導案、調査資料等の研究課題についての作成物等)
- ・ 実習中の教育実践(学校運営に関する取組、学級経営や学習指導、特別支援教育に関する実践等)
- ・ 実習中の取組状況(実習先の校長・担当者等からの所見、実習の振り返りにおける協議・意見交換等)

(2) 点数配分…各項目10点

(3) 各項目の評価基準…「十分に達している:10～9点」、「達成している:8～6点」、「十分ではない:5～0点」

(4) 総合判定…各評価項目の総点によって、

「秀:90点以上」「優:89～80点」「良:79～70点」「可:69～60点」「不合格:59点以下」の基準に従って総合判定を行う。

## 現職教員院生【教育実践高度化実習Ⅱ】「実習評価表」

目的	・学級経営、学習指導に関する研究課題についての実践研究を通して課題解決力を養う。					
	実習概要	・実習Ⅰで行った実践研究の分析をもとに更に探究的に課題解決を行う。 ・実習先において、学級経営、授業実践に関する教育活動に参画する。				
育成する力		到達目標	評価項目	点数	項目ごとの主たる評価資料(■)	
	リスクマネジメント力	様々な危険を防止し、万が一の事態にも適切かつ迅速に対処することができる。	1	様々な危険を防止し、万が一の事態にも適切かつ迅速に対処している。	/	/
学級・HR経営力	児童生徒一人一人の特性を把握してその能力を伸ばし、安心・安全に過ごせる学級・HR経営を行うことができる。	2	児童生徒一人一人の特性を把握してその能力を伸ばしていることとしている。	/	/	/
学習指導力	学習指導における指導方法等の改善策を実践することができる。	3	安心・安全に過ごせる学級・HR経営の一端を担っている。	/	/	/
		4	学習指導における指導方法等の改善策を見込んでいる。	/	/	/
校内研修推進力	校内研修を充実させていくための取組を実践することができる。	5	学習指導における指導方法等の改善策を実践している。	/	/	/
チームマネジメント力	教員間で協働して、学校の課題を解決していくことができる。	6	自身の研究課題に関する専門的知識・技能を生かして、校内研修を充実させていくための取組を実践している。	/	/	/
戦略マネジメント力	学校の教育課題解決の道筋に沿って解決策を実行できる。	7	教員間で協働して、学校の課題を解決している。	/	/	/
		8	学校の教育課題を分析し、課題解決の道筋を明らかにしている。	/	/	/
セルフマネジメント力	探究心をもって研究と教育活動を展開し、自己研鑽に努めていくことができる。	9	学校の教育課題解決の道筋に沿って解決策を実行できる。	/	/	/
		10	探究心をもって研究と教育活動を展開し、自己研鑽に努めている。	/	/	/
			合計点	総合判定		

### (1) 評価資料

- ・ 実習計画
- ・ 実習記録
- ・ 実習ポートフォリオ(実習において作成した単元計画や学習指導案、調査資料等の研究課題についての作成物等)
- ・ 実習中の教育実践(学校運営に関する取組、学級経営や学習指導、特別支援教育に関する実践等)
- ・ 実習中の取組状況(実習先の校長・担当者等からの所見、実習の振り返りにおける協議・意見交換等)

(2) 点数配分…各項目10点

(3) 各項目の評価基準…「十分に達している:10～9点」、「達成している:8～6点」、「十分ではない:5～0点」

(4) 総合判定…各評価項目の総点によって、

「秀:90点以上」「優:89～80点」「良:79～70点」「可:69～60点」「不合格:59点以下」の基準に従って総合判定を行う。

## 現職教員院生【教育実践高度化実習Ⅲ】「実習評価表」

目的	実習概要		到達目標	評価項目	点数	項目ごとの主たる評価資料(■)						
	目的	概要				実習計画	実習記録	実習ポートフォリオ	実習中の教育実践	実習中の取組状況		
<p>・学級経営、学習指導に関する専門性を高めるとともに、研究課題を主体的、探究的、協働的に解決して確かな指導理論を構築することができる高度な教育実践力を養う。</p> <p>・実習Ⅰ、実習Ⅱで得られた知見等に基づいて、自ら企画・立案した解決策を探究的に実践し、その成果を検証して、より効果的な実践(指導理論)を構築していく。</p> <p>・実習先において、学級経営、授業実践に関する教育活動に参画する。</p>												
育成する力												
リスクマネジメント力	様々な危険を防止し、万が一の事態にも適切かつ迅速に対処するために、自ら企画した効果的な方策を生かすことができる。	1	いじめなど生徒指導上の課題も含め、様々な危険の予防・解決に向けて、自ら企画した効果的な方策を生かしている。									
学級・HR経営力	児童生徒一人一人の特性を把握してその能力を伸ばし、安心・安全に過ごせる学級・HR経営のために、自ら企画した効果的な方策を生かすことができる。	2	児童生徒一人一人の特性を把握してその能力を伸ばしていこうとしている。									
学習指導力	学習指導における指導方法等について、自ら企画した効果的な方策を生かすことができる。	3	安心・安全に過ごせる学級・HR経営のために、自ら企画した効果的な方策を生かしている。									
校内研修推進力	校内研修の充実のために、自ら企画した効果的な方策を生かすことができる。	4	学習指導における指導方法等について、効果的な方策を企画している。									
チームマネジメント力	教員間で協働して学校の課題を解決していくために、自ら企画した効果的な方策を生かすことができる。	5	学習指導における指導方法等について、自ら企画した効果的な方策を生かしている。									
戦略マネジメント力	学校課題や教育課題解決のために、自ら企画した効果的な方策を生かすことができる。	6	校内研修の充実のために、自ら企画した効果的な方策を生かしている。									
セルフマネジメント力	探究心をもって研究と教育活動を展開し、自己研鑽と自己変革に努めることができる。	7	教員間で協働して学校の課題を解決していくために、自ら企画した効果的な方策を生かしている。									
		8	学校課題や教育課題解決のための方策を検討し、企画している。									
		9	学校課題や教育課題解決のために、自ら企画した効果的な方策を生かしている。									
		10	探究心をもって研究と教育活動を展開し、自己研鑽と自己変革に努めている。									
合計点						総合判定						

### (1) 評価資料

- ・ 実習計画
- ・ 実習記録
- ・ 実習ポートフォリオ(実習において作成した単元計画や学習指導案、調査資料等の研究課題についての作成物等)
- ・ 実習中の教育実践(学校運営に関する取組、学級経営や学習指導、特別支援教育に関する実践等)
- ・ 実習中の取組状況(実習先の校長・担当者等からの所見、実習の振り返りにおける協議・意見交換等)

(2) 点数配分…各項目10点

(3) 各項目の評価基準…「十分に達している:10～9点」、「達成している:8～6点」、「十分ではない:5～0点」

(4) 総合判定…各評価項目の総点によって、

「秀:90点以上」「優:89～80点」「良:79～70点」「可:69～60点」「不合格:59点以下」の基準に従って総合判定を行う。

## 現職教員院生【特別支援教育実習Ⅰ】「実習評価表」

目的	特別支援教育についての問題分析力や課題発見力、解決策の構想力を養う。	
	育成する力	到達目標
実習概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習先において、学校課題や教育課題を分析し、その明確化を図り、実践研究の見通しを立てる。</li> <li>・実習先において、特別支援教育に関する教育活動に参画する。</li> </ul>	
育成する力	到達目標	評価項目
リスクマネジメント力	様々な危険を防止し、万が一の事態にも適切かつ迅速に対処するための理解し、対応することができる。	1 様々な危険を防止し、万が一の事態にも適切かつ迅速に対処するための手立てを理解し、対応している。
学級・HR経営力	児童生徒一人一人の特性や障害の状況を把握してその能力を伸ばし、おける集団としての関わりを深めていくための手立てを見いだすことができる。	2 児童生徒一人一人の特性や障害の状況を把握してその能力を伸ばしていこうとしている。 3 学級・HRにおける集団としての関わりを深めていくための手立てを見いだしている。
学習指導力	特別支援教育についての課題の分析を行い、指導方法等についての改善策を構想することができる。	4 特別支援教育における指導・支援についての課題の分析・考察を行っている。 5 特別支援教育における指導・支援の方法等についての改善策を構想している。
校内研修推進力	校内研修を推進していくための見通しを持つことができる。	6 校内研修を推進していくための見通しを持っている。
チームマネジメント力	教員間で協働して、学校の特別支援教育上の課題を明確にすることができる。	7 教員間で協働して、学校の特別支援教育上の課題を明確にしている。
戦略マネジメント力	学校の課題や教育課題を分析し、課題解決の見通しを立てることができる。	8 学校の課題や教育課題を分析し、諸課題の要因をつかんでいる。 9 学校の課題や教育課題を解決するための見通しを立てている。
セルフマネジメント力	探究心をもって研究と教育活動を展開し、自己研鑽に努めていくことができる。	10 探究心をもって研究と教育活動を展開し、自己研鑽に努めている。
		合計点
		総合判定

### (1) 評価資料

- ・ 実習計画
- ・ 実習記録
- ・ 実習ポートフォリオ(実習において作成した単元計画や学習指導案、調査資料等の研究課題についての作成物等)
- ・ 実習中の教育実践(学校運営に関する取組、学級経営や学習指導、特別支援教育に関する実践等)
- ・ 実習中の取組状況(実習先の校長・担当者等からの所見、実習の振り返りにおける協議・意見交換等)

(2) 点数配分…各項目10点

(3) 各項目の評価基準…「十分に達している:10～9点」、「達成している:8～6点」、「十分ではない:5～0点」

(4) 総合判定…各評価項目の総点によって、

「秀:90点以上」「優:89～80点」「良:79～70点」「可:69～60点」「不合格:59点以下」の基準に従って総合判定を行う。

## 現職教員院生【特別支援教育実習Ⅱ】「実習評価表」

目的	特別支援教育に関する研究課題についての実践研究を通して課題解決力を養う。				
	実習概要	実習Ⅰで行った実践研究の分析をもとに更に探究的に課題解決を行う。 実習先において、特別支援教育に関する教育活動に参画する。			
育成する力	到達目標	評価項目	点数	項目ごとの主たる評価資料(■)	
リスクマネジメントカ	様々な危険を防止し、万が一の事態にも適切かつ迅速に対処することができる。	1	様々な危険を防止し、万が一の事態にも適切かつ迅速に対処している。	実習計画	実習記録
学級・HR経営力	児童生徒一人一人の特性や障害の状況を把握してその能力を伸ばし、安心・安全に過ごせる学級・HR経営を行うことができる。	2	児童生徒一人一人や障害の状況の特性を把握してその能力を伸ばしていることとしている。		
		3	安心・安全に過ごせる学級・HR経営の一端を担っている。		
		4	特別支援教育における指導・支援の方法等の改善策を見いだしている。		
学習指導力	特別支援教育における指導方法等の改善策を実践することができる。	5	特別支援教育における指導・支援の方法等の改善策を実践している。		
校内研修推進力	校内研修を充実させていくための取組を実践することができる。	6	自身の研究課題に関する専門的知識・技能を生かして、校内研修を充実させていくための取組を実践している。		
チームマネジメントカ	教員間で協働して、学校の特別支援教育上の課題を解決していくことができる。	7	教員間で協働して、学校の特別支援教育上の課題を解決している。		
戦略マネジメントカ	学校の教育課題解決の道筋に沿って解決策を実行できる。	8	学校の教育課題を分析し、課題解決の道筋を明らかにしている。		
		9	学校の教育課題解決の道筋に沿って解決策を実行できる。		
セルフマネジメントカ	探究心をもって研究と教育活動を展開し、自己研鑽に努めていくことができる。	10	探究心をもって研究と教育活動を展開し、自己研鑽に努めている。		
			合計点	総合判定	

### (1) 評価資料

- ・ 実習計画
- ・ 実習記録
- ・ 実習ポートフォリオ(実習において作成した単元計画や学習指導案、調査資料等の研究課題についての作成物等)
- ・ 実習中の教育実践(学校運営に関する取組、学級経営や学習指導、特別支援教育に関する実践等)
- ・ 実習中の取組状況(実習先の校長・担当者等からの所見、実習の振り返りにおける協議・意見交換等)

(2) 点数配分…各項目10点

(3) 各項目の評価基準…「十分に達している:10～9点」、「達成している:8～6点」、「十分ではない:5～0点」

(4) 総合判定…各評価項目の総点によって、

「秀:90点以上」「優:89～80点」「良:79～70点」「可:69～60点」「不合格:59点以下」の基準に従って総合判定を行う。

## 現職教員院生【特別支援教育実習Ⅲ】「実習評価表」

目的	実習概要	育成する力	到達目標	評価項目	点数	項目ごとの主たる評価資料(■)				
						実習計画	実習記録	実習ポートフォリオ	実習中の教育実践	実習中の取組状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育に関する専門性を高めるとともに、研究課題を主体的、探究的、協働的に解決して確かな指導理論を構築することができる高度な教育実践力を養う。</li> <li>実習Ⅰ、実習Ⅱで得られた知見等に基づいて、自ら企画・立案した解決策を探究的に実践し、その成果を検証して、より効果的な実践(指導理論)を構築していく。</li> <li>実習先において、特別支援教育に関する教育活動に参画する。</li> </ul>										
リスクマネジメント力	様々な危険を防止し、万が一の事態にも適切かつ迅速に対処するために、自ら企画した効果的な方策を生かすことができる。	1	いじめなど生徒指導上の課題も含め、様々な危険の予防・解決に向けて、自ら企画した効果的な方策を生かしている。							
学級・HR経営力	児童生徒一人一人の特性や障害の状況を把握してその能力を伸ばし、安心・安全に過ごせる学級・HR経営のために、自ら企画した効果的な方策を生かすことができる。	2	児童生徒一人一人の特性や障害の状況を把握してその能力を伸ばしている。							
学習指導力	特別支援教育における指導方法等について、自ら企画した効果的な方策を生かすことができる。	3	安心・安全に過ごせる学級・HR経営のために、自ら企画した効果的な方策を生かしている。							
校内研修推進力	特別支援教育における指導方法等について、自ら企画した効果的な方策を生かすことができる。	4	特別支援教育における指導・支援の方法等について、効果的な方策を企画している。							
チームマネジメント力	校内研修の充実のために、自ら企画した効果的な方策を生かすことができる。	5	特別支援教育における指導・支援の方法等について、自ら企画した効果的な方策を生かしている。							
戦略マネジメント力	学校課題や教育課題解決のために、自ら企画した効果的な方策を生かすことができる。	6	校内研修の充実のために、自ら企画した効果的な方策を生かしている。							
セルフマネジメント力	探究心をもって研究と教育活動を展開し、自己研鑽と自己変革に努めることができる。	7	教員間で協働して学校の課題を解決していくために、自ら企画した特別支援教育の効果的な方策を生かしている。							
		8	学校課題や教育課題解決のための方策を検討し、企画している。							
		9	学校課題や教育課題解決のために、自ら企画した効果的な方策を生かしている。							
		10	探究心をもって研究と教育活動を展開し、自己研鑽と自己変革に努めている。							
合計点						総合判定				

### (1) 評価資料

- 実習計画
- 実習記録
- 実習ポートフォリオ(実習において作成した単元計画や学習指導案、調査資料等の研究課題についての作成物等)
- 実習中の教育実践(学校運営に関する取組、学級経営や学習指導、特別支援教育に関する実践等)
- 実習中の取組状況(実習先の校長・担当者等からの所見、実習の振り返りにおける協議・意見交換等)

(2) 点数配分…各項目10点

(3) 各項目の評価基準…「十分に達している:10～9点」、「達成している:8～6点」、「十分ではない:5～0点」

(4) 総合判定…各評価項目の総点によって、

「秀:90点以上」「優:89～80点」「良:79～70点」「可:69～60点」「不合格:59点以下」の基準に従って総合判定を行う。

(様式3 表面)

## 教育実践高度化専攻 【 実習Ⅰ ・ Ⅱ ・ Ⅲ 】 実習計画書

(いずれかを○で囲む)

コース	ふりがな			実習校
	氏名 (性別)	( 男 ・ 女 )		
生年月日 (年齢)	年 月 日 ( 歳 )			
学籍番号			年次	年次
在籍校 (現職教員のみ)	立 学校			
連絡先	(現住所)			
	(電 話)			
	(E-MAIL)			
実習先への 通勤方法				
大学	主担当		副担当	
実習校	校長		指導担当	
実習課題				
(実習において実践したいこと)				



月日 (曜日)	主な実習計画 ※研究授業や研究実践等、実習課題追究のための活動が分かるように記載	配属学年、 担当教科等
月 日 ( )		

(欄が足りない場合は、適宜追加して次ページに記載)

(様式4)

## 教職実践高度化専攻【 実習Ⅰ ・ Ⅱ ・ Ⅲ 】実習記録

(いずれかを○で囲む)

実習校		実習生	
実習課題			

年 月 日 ( )

実習における観察・実践と分析、今後に向けての課題等

大学、実習校の指導担当等からの指導・助言

(様式4)

年 月 日 ( )
実習における観察・実践と分析、今後に向けての課題等
大学、実習校の指導担当等からの指導・助言

年 月 日 ( )
実習における観察・実践と分析、今後に向けての課題等
大学、実習校の指導担当等からの指導・助言

(様式7)

## 教職実践高度化専攻【 実習Ⅰ ・ Ⅱ ・ Ⅲ 】実習所見表

(いずれかを○で囲む)

実習校		
学校長名	印	
指導担当	印	
実習生氏名		
実習期間	年 月 日～ 月 日	
出席状況	出席日数	日
	欠席日数	日
	遅刻	回
	早退	回
所見		